

# 第39回秋田県優良工事表彰 第4回秋田県優良業務表彰



平成30年9月  
秋 田 県



表紙：第39回秋田県優良工事表彰から

左上：能代港第2灰捨護岸建設工事 29-Z102-10

能代港第2灰捨護岸建設工事 29-Z102-20

右上：三条川原地区 農地集積加速化基盤整備工事 05603-K09

左下：地方道路交付金工事（改築） 28-HF42-K1

右下：長倉沢地区 予防治山工事 RH1113A930

# 第39回秋田県優良工事表彰式 第4回秋田県優良業務表彰式

とき 平成30年9月3日(月)

午後3時15分～5時15分

ところ 秋田県庁正庁

## 次 第

1. 開式のことば
2. 式 辞 知 事
3. 来賓祝辞 県議会議長
4. 審査報告 建設部建設技監
5. 表彰状授与(工事) 知 事
6. 受賞者謝辞(工事) 受賞者代表
7. 表彰状授与(業務) 知 事
8. 受賞者謝辞(業務) 受賞者代表
9. 閉式のことば



第39回秋田県優良工事表彰から  
 地方道路交付金工事（改築） 27-HF54-N1  
 国道285号 滝ノ沢バイパス（米内沢トンネル）

## 目 次

・ お祝いの言葉	2
・ 第39回秋田県優良工事表彰及び 第4回秋田県優良業務表彰について	3
・ 第39回秋田県優良工事表彰工事一覧表	4
・ 表彰工事の概要	6
・ 秋田県優良工事表彰選考委員会及び幹事会名簿	39
・ 秋田県優良工事表彰要綱	40
・ 第4回秋田県優良業務表彰業務一覧表	41
・ 表彰業務の概要	42
・ 秋田県優良業務表彰選考委員会及び幹事会名簿	55
・ 秋田県優良業務表彰要綱	56



秋田県知事  
佐竹 敬久

### お祝いの言葉

第39回秋田県優良工事表彰及び第4回秋田県優良業務表彰を受賞されました皆様に対し、心からお祝い申し上げます。

優良工事表彰制度は、県内建設企業の技術力の向上を目的に、昭和55年に創設され、今年度で39回目を迎えました。今回受賞された33件は、対象となる1,650件の工事から選定されたもので、優れた施工技術と綿密な施工管理のもとに完成した工事であります。

また、優良業務表彰制度については、測量や調査・設計に携わる県内企業の技術者確保・育成を図ることを目的に平成27年度に創設され、今年度が4回目の表彰となります。今回受賞された13件は、950件の対象業務の中から選定され、いずれも、豊富な経験と優れた識見により完了した業務であります。

建設産業は、地域の生活や様々な産業活動を支える社会資本の整備等に加え、県民の安全・安心な暮らしを守る地域防災で重要な役割を果たしており、地域の経済と雇用を支える基幹産業であります。

県としましては、今後とも、県内建設関連企業の受注機会の確保とともに、技術・技能の継承や安定的な事業運営に向け、若者や女性などの建設産業の担い手確保を推進してまいります。

受賞された皆様をはじめ、建設産業に携わる方々におかれましては、今後とも社会基盤の品質の確保に向けて、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。お祝いの言葉といたします。

## 第39回秋田県優良工事表彰 工事一覧表(1/2)

番号	受賞回数 特別表彰	工事名	工事箇所	施工業者	代表者名	発注公所
1	10 今回 特別表彰	鹿角第二地区 公害防除特別土地改良工事 00309-K06	鹿角市 十和田 瀬田石	株式会社柳沢建設	柳沢 義生	鹿角地域振興局
2	4	県単道路補修工事(災害防除) 29-G351-20	鹿角市 八幡平	株式会社村木組	村木 通良	鹿角地域振興局
3	3	県単河川改良工事 (自然防止債) 28-K103-10	小坂町 小坂鉱山	株式会社タナックス	葛西 秀正	鹿角地域振興局
4	8	上川沿地区 農地集積加速化基盤整備工事 06002-K25	大館市 池内	花岡土建株式会社	鈴木 泚士	北秋田地域振興局
5	秋田 9 東光 0	地方道路交付金工事 (橋梁補修) 28-FI52-10	北秋田市 阿仁繫沢	秋田・東光特定建設 工事共同企業体	北林 一成	北秋田地域振興局
6	秋田 9 花岡 8 藤島 0	地方道路交付金工事(改築) 27-HF54-N1	北秋田市 米内沢	秋田・花岡・藤島特 定建設工事共同企 業体	北林 一成	北秋田地域振興局
7	11	能代1期地区 基幹水利施設 ストックマネジメント工事 02801-K05	八峰町 峰浜石川	大森建設株式会社	大森 三四郎	山本地域振興局
8	4	荷上場地区 農地集積加速化基盤整備工事 06102-K13	能代市 二ツ井町 荷上場	有限会社伊藤組	伊藤 与四郎	山本地域振興局
9	大森 11 清水 4 杉本 1	能代港第2灰捨護岸建設工事 29-Z102-10	能代市 河戸川	大森・清水・杉本特 定建設工事共同企 業体	大森 三四郎	能代港湾事務所
10	中田建設 7 三和興業 1	能代港第2灰捨護岸建設工事 29-Z102-20	能代市 河戸川	中田建設・三和興業 特定建設工事共同 企業体	中田 潤	能代港湾事務所
11	6	ねむり川地区 ため池等整備(用排水)工事 00802-K01	男鹿市 福川	株式会社加藤建設	加藤 正己	秋田地域振興局
12	2	孫左衛門川原地区 ため池等整備(用排水)工事 00602-K02	秋田市 太平目長崎	株式会社渡部機工	藤原 秀則	秋田地域振興局
13	1	五里合地区 農地集積加速化基盤整備工事 06202-K20	男鹿市 五里合神谷	株式会社杉本組	嶋宮 信雄	秋田地域振興局
14	2	地方道路交付金工事 (橋梁補修) 29-FI54-70	秋田市 浜田	株式会社フジペン	藤井 龍太郎	秋田地域振興局
15	9	県単港湾整備工事 28-O261-30	男鹿市 船川港船川	株式会社沢木組	沢木 則明	船川港湾事務所
16	5 今回 特別表彰	飯島ふ頭用地造成工事 29-Z601-20	秋田市 飯島	秋田舗道株式会社	青池 宏志	秋田港湾事務所
17	4	統合補助改修工事 29-PC12-10	男鹿市 船川港船川	株式会社清水組	清水 重輝	船川港湾事務所

※ 受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない

## 第39回秋田県優良工事表彰 工事一覧表(2/2)

番号	受賞回数 特別表彰	工事名	工事箇所	施工業者	代表者名	発注公所
18	3	岩木地区 ため池等整備(ため池)工事 01605-K03	由利本荘市 岩谷麓	菊地建設株式会社	橋本 一康	由利地域振興局
19	6	砂子沢地区 予防治山工事 RE1113A601	由利本荘市 矢島町川辺	矢島建設株式会社	土田 克夫	由利地域振興局
20	5 今回 特別表彰	三条川原地区 農地集積加速化基盤整備工事 05603-K09	大仙市 北楢岡	株式会社小笠原組	小笠原 武男	仙北地域振興局
21	3	藪台地区 農地集積加速化基盤整備工事 04506-K03	大仙市 寺館・ 北野目	有限会社県南開発 工業	高橋 勲	仙北地域振興局
22	8	地方道路交付金工事(改築) HF36-20	仙北市 西木町 松木内	佐藤建設株式会社	田村 保	仙北地域振興局
23	1	県単河川改良工事 (自然防止債) K348-10	大仙市 大沢郷寺	株式会社斎兵組	齋藤 法	仙北地域振興局
24	5 今回 特別表彰	河川災害関連工事 KF11-40	大仙市 清水	仲周建設株式会社	仲野谷 康	仙北地域振興局
25	6	横手地区 農地集積加速化基盤整備工事 06603-K17	横手市 赤坂	株式会社最上田組	最上田 政司	平鹿地域振興局
26	宮原組 10 横手建設 5	深沢地区 予防治山工事 RG1113A901	横手市 山内南郷	宮原組・横手建設 特定建設工事共同 企業体	宮原 竜也	平鹿地域振興局
27	伊藤 10 吉田 8	地方道路交付金工事 (橋梁補修) FI57-10	横手市 大森町	伊藤・吉田特定建 設工事共同企業体	中村 清昭	平鹿地域振興局
28	8	地方道路交付金工事(改築) 28-HF42-K1	横手市 雄物川町 大沢	株式会社吉田建設	吉田 博行	平鹿地域振興局
29	2	明治地区 特定農業用管水路 等特別対策工事 00602-K01	羽後町 新町	株式会社小野建設	小野 雅敏	雄勝地域振興局
30	宮原組 10 佐々木組 5	長倉沢地区 予防治山工事 RH1113A930	東成瀬村 樺川	宮原組・佐々木組 特定建設工事共同 企業体	宮原 竜也	雄勝地域振興局
31	3	地方道路等整備工事(建設) I781-10	湯沢市 字下山谷	株式会社高修興業	高橋 譲	雄勝地域振興局
32	本荘 0 松澤 0	水産振興センター 機械棟電気設備工事 2804	男鹿市 船川港台島	本荘・松澤特定建 設工事共同企業体	塩谷 久樹	水産漁港課
33	(株)沢木組9 (株)清水組4	水産振興センター 生産棟建築工事 2901	男鹿市 船川港台島	(株)沢木組・(株)清 水組特定建設工事 共同企業体	沢木 則明	水産漁港課

※ 受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない

## 第39回秋田県優良工事表彰及び第4回秋田県優良業務表彰について



秋田県優良工事・優良業務表彰幹事長  
秋田県 建設部 建設技監  
佐藤 和義

秋田県優良工事表彰は、建設技術の向上を図ることを目的に、県発注工事の中から特に優秀な工事を選定し、これを施工した県内企業と技術者を表彰するもので、表彰には、「優良工事表彰」と、単独企業として優良工事表彰5回目、10回目の受賞者に与えられる「特別表彰」があります。

また、平成20年度からは、小規模工事ながら地域の発展に寄与している企業に対して、各地域振興局長が表彰する「地域振興局長表彰」を創設しております。

今回は、平成29年度に完成した工事の中から、33件の工事を優良工事として表彰するものです。受注形態別の内訳は単独企業受賞が24件、共同企業体受賞が9件となっており、受賞企業全35社のうち、1社が10回目の受賞、3社が5回目の受賞となるため、これを特別表彰とするものです。

平成27年度からは、測量や調査・設計に携わる県内企業の技術者の確保・育成を図ることを目的に、秋田県優良業務表彰を創設しております。

今回は、平成29年度に完了した業務の中から、13件の業務を優良業務として表彰するものであり、専門技術力や品質管理能力、施工時への配慮等において特に優れていると評価されたものであり、他の模範となる業務であります。

優良工事表彰及び優良業務表彰を期に、維持管理時代に対応した新たな技術の習得など、今後とも一層の技術の研鑽と創意工夫に努められますことを期待しております。



# 1 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

## ◆工事概要

工 事 名	鹿角第二地区 公害防除特別土地改良工事 00309-K06		
路河川名/地区名	鹿角第二地区	施工地名	鹿角市十和田瀬田石
商号又は名称	株式会社柳沢建設	許可番号	05-001843
請 負 額	104,420,880 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役社長 柳沢 義生		
監理技術者等	現場代理人 柳沢 剛		
監督実施公所	鹿角地域振興局（農林部）		
主任監督員	佐藤 吉平	監 督 員	田中 裕太郎
工 期	平成29年2月24日～ 平成29年12月8日	完成年月日	平成29年12月4日
概 要	1) 客土工A=6.3ha 2) 整地工A=6.3ha 3) 用水路工L=765m、 4) 排水路工L=1138m 5) 土取場工N=1式		
特 徴	1) カドミウムによる土壌汚染を封じ込めるための上乘せ客土工 2) 客土工に付帯する用水路工、排水路工、土取場工		

## 写 真

着工前



完 成



## ◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 客土材は10tダンプトラック延べ12,000台により2.5ヶ月間かけて運搬し、運搬経路に公道や河川堤防が含まれていたが、公衆災害やトラブル無く工事を完了した。特に当該河川堤防は小坂川沿いの鮎釣りの名所であり、県内外から多くの釣り客が訪れるが、漁協組合等との協議調整を密に行い、安全管理を徹底した。
- ・ 整地工を適期である夏期に完了させるために工程管理に注力し、豪雨災害等天候不良による作業ロスが生じたにも関わらず、予定工期内に整地工を完了させた。また、土取場の準備工（伐開作業、土地境界確認等）について関係者と綿密に協議し、速やかに段取りを進めたことで、スムーズに客土工、整地工に着手した。

## ◆施工業者からのPR

- 公道や河川堤防を通行して客土材を運搬することから、公衆災害やトラブルが無いよう、安全管理等に細心の注意を払って施工した。
- ・ 土取場付近において待機中のダンプトラックが一般車両の通行を阻害しないよう仮設ヤードを整備した。
  - ・ 運搬経路について、草刈りや散水車による路面清掃を定期的実施した。
  - ・ 小坂川には早朝から釣り客が訪れることから、安全施設の設置や早朝からの呼びかけ等実施した。

## 2 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

### ◆工事概要

工 事 名	県単道路補修工事（災害防除） 29-G351-20		
路河川名/地区名	国道282号	施工地名	鹿角市八幡平
商号又は名称	株式会社村木組	許可番号	05-014040
請 負 額	61,037,280 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 村木 通良		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 康孝		
監督実施公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任監督員	佐々木 淳	監 督 員	出雲 智也
工 期	平成29年10月31日～ 平成30年3月26日	完成年月日	平成30年3月26日
概 要	1) 護岸工 もたれ式擁壁 A=153m <sup>2</sup> 2) 土留工 IV型鋼矢板 N=30枚 3) 薬液注入工 N=1式 4) グラウトアンカー工 N=7本		
特 徴	1) 大型車交通の多い国道における路肩崩落の復旧工事 2) 矢板打込、グラウトアンカー工、薬液注入等特殊な専門業者が関連する工事		

### 写 真

着工前



完 成



### ◆監督実施公所の推薦理由

本工事は国道282号、笹の渡橋の袖護岸崩落により路面陥没が発生した現場である。当現場は付近に迂回路が無く本格的な降雪前に片側交互通行を解除する必要があった。

- ・当初現場には作業スペースが無く国道を夜間全面通行止めとする計画であったが、施工者の提案によりクレーンヤードを設置し作業を実施した。これにより全面通行止めを回避することができ住民から苦情やトラブルもなく工事を完成させることが出来た。
- ・10月末の工事着工から年内片側交互通行規制解除に向け約2ヶ月という厳しい工程の中、矢板打込、薬液注入工及びグラウトアンカー工等の専門業者との日程調整を綿密に行い年内規制解除を達成できた。

### ◆施工業者からのPR

当初は国道を全面通行止めにし夜間作業する予定だったが、湯瀬地区住民の夜間の孤立化の解消及び温泉ホテル関係への配慮から、下請業者と打合せを行い片側交互通行をさせながらの作業を検討した結果、大型土のう積を行いクレーンヤードを構築することで解消が図られた。

クレーンヤード構築の決定から矢板打込の施工まで期間がなく短期間で作業になったが、クレーンヤードの構築により地域住民にご迷惑を最小限とすることができた。また我々も時間制約・作業スペースの制限が緩和され安全に作業を行うことができた。

### 3 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	県単河川改良工事（自然防止債） 28-K103-10		
路河川名/地区名	小坂川	施工地名	小坂町小坂鉱山
商号又は名称	株式会社タナックス	許可番号	00-000874
請 負 額	63,720,000 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 葛西 秀正		
監理技術者等	主任技術者 三ヶ田 健一		
監督実施公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任監督員	千葉 和仁	監 督 員	高橋 賢伍
工 期	平成28年6月10日～ 平成29年6月30日	完成年月日	平成29年6月8日
概 要	1) 施工延長 L=273m 2) スロープ工 L=61.5m、階段工 N=1箇所、園路工 L=252.98m		
特 徴	1) 観光地（康楽館・小坂鉱山事務所）と隣接した現場条件 2) 安全性と美観に配慮した河川公園整備		
写 真			
			
康楽館のすぐ後ろで スロープ工の施工中		スロープ工（完成）	
			園路工（完成）

◆監督実施公所の推薦理由
<p>本工事は、小坂町と県が協働で行う「明治百年通りにぎわい創りプロジェクト」に位置づけられている工事で、周辺には康楽館や小坂鉱山管理事務所（どちらも国の重要文化財に指定されている）があるため、康楽館公演中の現場作業を控えたり、観光客の安全に配慮してバリケードや看板を数多く設置（看板は外国語も記載）するなど地元調整や安全確保に努めた。</p> <p>また、スロープ工などの施工にあたっては、既施設や周辺の景観との調和をはかった製品を選定することで河川公園全体の美観を損ねることなく、明治百年通りのにぎわい創出に努めた。</p>

◆施工業者からのPR
<p>現場が観光地内であることから、全ての機械を排出ガス規制型、低騒音型、後方モニター付きのバックホウを採用した。芝居のクライマックス時間は重機作業を避けて休憩時間にあてたり、大きなイベントのときには工事を休止し営業に配慮した。外国人観光客に向けて外国語の看板を設置した。現場打ち部分については周辺になじむ化粧型枠を選定した。現場の安全性向上のための提案を行った。自然石の加工を工夫した。</p>

## 4 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

### ◆工事概要

工 事 名	上川沿地区 農地集積加速化基盤整備工事 06002-K25		
路河川名/地区名	上川沿地区	施工地名	大館市池内
商号又は名称	花岡土建株式会社	許可番号	05-002129
請 負 額	163,556,280 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 鈴木 泚士		
監理技術者等	現場代理人 浪岡 智美		
監督実施公所	北秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	石井 学	監 督 員	松橋 勇氣
工 期	平成29年10月23日～ 平成30年3月26日	完成年月日	平成30年3月26日
概 要	1) 水路工 L=46.0m（推進工 φ2,200mm）		
特 徴	1) 管径2,200mmの泥水式推進工法		

### 写 真



掘進機搬入状況



出来形検測状況

### ◆監督実施公所の推薦理由


- ・本工事は、市道の盛土部分（橋梁取付部）において排水路を横断させるためのものであり、交通、水道、電気等のインフラに影響しないよう、推進工法でコンクリート管渠（φ2,200mm）を設置する工事である。工期の制約がある中で、ドローンを活用した現況把握による綿密な施工計画を立案し、土質調査に基づいて掘削能力の高い掘進機面盤へのランクアップを提案したことにより、工期内で完成させることが出来た。
- ・掘進機遠隔操作室を設け、操作盤・カメラモニターにて切羽の安定を図り、推進管1本ごとに掘進位置・高さをコントロールして施工を進めた結果、出来形、品質とも良好で出来ばえもよく完成させることが出来た。

### ◆施工業者からのPR

- ・立坑の鋼矢板打込みは近接民家があるため油圧式可変超高周波バイブロを使用し、引抜きは施工した推進管や接続桝が振動で動かないよう油圧式圧入引抜機サイレントパイラーで実施しました。
- ・施工前の現地試掘の実施により推進管路部の土質を事前に把握し、推進工に影響する可能性とその対策を検討しました。
- ・地元町内会会長を通じて地域住民へ工事のお知らせチラシを配布し、工事について周知して理解と協力をお願いしました。また、現場事務所から工事現場までの区間クリーンアップを行い、地域の景観に配慮しました。

## 5 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

### ◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金工事（橋梁補修） 28-F152-10		
路河川名/地区名	国道105号	施工地名	北秋田市阿仁繫沢
商号又は名称	秋田・東光特定建設工事共同企業体		
請 負 額	195,373,080 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	秋田土建株式会社 代表取締役 北林 一成		
許可番号	05-081727	監理技術者等	監理技術者 山本 豊彦
(構 成 員)	東光鉄工株式会社 代表取締役 虻川 東雄		
(許可番号)	00-018122	(監理技術者等)	主任技術者 戸嶋 貢
監督実施公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	船木 孝仁	監 督 員	成田 拓未
工 期	平成28年9月30日～ 平成30年3月23日	完成年月日	平成30年3月19日
概 要	1) 橋梁補修工 N=1式 (橋長 L=40.0m, 幅員 W=7.5m, 増桁 t=15.8t, 床版打換 A=346m <sup>2</sup> )		
特 徴	1) 急カーブが続く山間部で、供用しながら施工する橋梁補修工事である 2) 一般交通を考慮した施工計画と工程管理を要する		
写 真			
			
<span style="display: inline-block; width: 30%; text-align: center;">着手前</span> <span style="display: inline-block; width: 30%; text-align: center;">桁架設</span> <span style="display: inline-block; width: 30%; text-align: center;">完 成</span>			

### ◆監督実施公所の推薦理由

- ・主桁架設工法の変更を提案する等、施工計画を工夫することで、限られたスペースでの施工に対応した。
- ・仮設計画の工夫により、片側施工から全面施工へと切り替え、床版コンクリートや現場溶接の品質確保、補強部材や床版パネルの分割を不要としたことによる施工性の向上、工程の短縮につなげた。

### ◆施工業者からのPR

- ・一般車両を迂回路通行とし、交通振動の影響を無くすことで、床版コンクリートや現場溶接の品質を確保することができた。また、全面施工とすることで、補強部材や床版パネルの分割が不要となり、施工性の向上、工程の短縮につなげることができた。
- ・主桁架設工法を100t吊クレーンでのベント架設から、車体幅が狭くても高能力の65t吊クレーン2台での一括架設に変更したことで、ベントを省略するとともに、限られたスペースの中で架設することができた。

## 6 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

### ◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金工事（改築） 27-HF54-N1		
路河川名/地区名	国道285号	施工地名	北秋田市米内沢
商号又は名称	秋田・花岡・藤島特定建設工事共同企業体		
請 負 額	1,436,400,000円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	秋田土建株式会社 代表取締役 北林 一成		
許 可 番 号	05-081727	監理技術者等	監理技術者 佐藤 佐
(構 成 員)	花岡土建株式会社 代表取締役 鈴木 泚士		
(許 可 番 号)	05-002129	(監理技術者等)	主任技術者 高橋 貴弘
(構 成 員)	株式会社藤島組 代表取締役 北林 誠		
(許 可 番 号)	05-000503	(監理技術者等)	主任技術者 春日 美津久
監督実施公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	目黒 誠	監 督 員	木村 圭佑
工 期	平成27年12月28日～ 平成29年10月30日	完成年月日	平成29年10月30日
概 要	1)施工延長 L=367.0 m 2)掘削・支保工（上半） L=356.2m 3)掘削・支保工（下半） L=362.4m		
特 徴	1)トンネル上部の地山が薄い低土被り区間がある中での掘削 2)トンネル終点部に家屋への騒音防止のため起点側からの逆掘での掘削		
写 真			
			
着工前		完成	

### ◆監督実施公所の推薦理由

- ・多くの立会、段階確認や4回の中間検査がある中で適格な工程管理を行い、遅れなく工事を完成させた。
- ・地元住民や大学、高校の生徒、建設業協会など様々な人を対象とした現場見学会を数多く受け入れた。
- ・トンネル終点部に家屋があり、騒音防止のため起点側から逆掘したことにより騒音等の苦情がなかった。
- ・当初はトンネル上部の低土被り区間を掘削するにあたり薬液を注入して地山を改良する掘削補助工法であったが、施工業者、設計業者との協議により地山の状態を把握し安全な掘削施工が期待できるAGF工法を採用し、大きな肌落ちや地山の崩壊などなく、安全に掘進を完了した。

### ◆施工業者からのPR

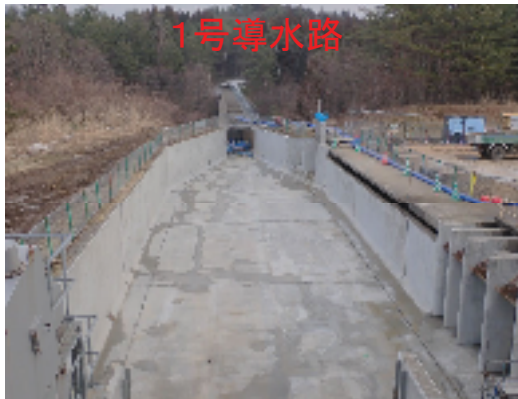
- ・出来形管理及び品質管理において、社内目標値は規格値の80%以内に定めていたが、より良い品質を追求するため当現場においては規格値の50%以内で管理し施工した。
- ・トンネル上部の地山が薄い低土被り区間(L=57m・最少土被りH=5m)を掘削するにあたり、地山の崩落や切羽面の大きな肌落ちを発生させないために掘削補助工法を併用するとともに吹付機を背後に待機させ、通常より少量掘削して吹付けるといった細かい施工サイクルを実施するなどして掘削を進めた。

## 7 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

### ◆工事概要

工 事 名	能代1期地区 基幹水利施設ストックマネジメント工事 02801-K05		
路河川名/地区名	能代1期地区	施工地名	八峰町峰浜石川
商号又は名称	大森建設株式会社	許可番号	05-081607
請 負 額	86,563,080 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 大森 三四郎		
監理技術者等	現場代理人 田森 文広		
監督実施公所	山本地域振興局（農林部）		
主任監督員	小林 真澄	監 督 員	高橋 慎太郎
工 期	平成29年11月24日～ 平成30年3月23日	完成年月日	平成30年3月23日
概 要	1) 施工延長 L=113.3m      2) 目地補修工 L=296.5m 3) 表面被覆工 A=2,120m <sup>2</sup> 4) 塗装工 A=227m <sup>2</sup>		
特 徴	1) 受益面積 2,994haへ農業用水を分水させる完成から40年以上経過した構造物を補修する工事である		

### 写 真



### ◆監督実施公所の推薦理由

- ・大断面水路の摩耗したコンクリート表面をポリマーセメントモルタルで補修する工事であった。
- ・落水後の冬場の厳しい施工条件と他工事（水門補修と流量計補修）との調整が求められる中、水利権の許可開始日までに完成させる必要があり、緻密なスケジュール管理が求められた。
- ・また、築造から40年以上経過した構造物であり、底板の引張強度が得られない等、難易度の高い工事であった。このような条件下で、作業方法の選定、仮設養生仮囲いの工夫、施工班の増強を行うことにより期限内に完成させるとともに、出来形や品質を確保するため施工途中に工夫して管理しており、他工事の模範となるものであった。

### ◆施工業者からのPR

- ・大雪や強風、気温低下の厳しい地域であるため、大断面水路を覆う養生仮囲いの強度を特に求められたことから、鋼製型枠のビーム材と屋根材を用いた強固な構造にて、給熱養生を行った。また、既設コンクリート面の加温やモルタル練り上げ温度の管理も行い品質を確保した。
- ・高圧洗浄後、水路底板は所定の付着強度が得られず、この状態で施工しても補修材が剥がれる恐れがあったため、コンクリートの劣化原因を調査したうえ、脆弱部を除去し所定の付着強度を確保した。
- ・脆弱部除去は研り面の均一、人力研り作業時間の制約、研り作業員の健康障害防止、工程短縮のため小型切削機にて切削し対策を行った。

## 8 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	荷上場地区 農地集積加速化基盤整備工事 06102-K13		
路河川名/地区名	荷上場地区	施工地名	能代市二ツ井町荷上場
商号又は名称	有限会社伊藤組	許可番号	05-002626
請 負 額	75,015,720 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 伊藤 与四郎		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 昇		
監督実施公所	山本地域振興局（農林部）		
主任監督員	川村 慎吾	監 督 員	藤田 祐貴
工 期	平成29年8月10日～ 平成30年3月20日	完成年月日	平成30年3月16日
概 要	1) 用水路工 L=2,011.7m                      2) 排水路工 L=186.2m 3) 道路工（横断暗渠）L=51.5m      4) 道路工（敷砂利）L=1,213.7m		
特 徴	1) 鋼矢板打込機械選定の工夫 2) 地域への貢献PR		
写 真			
<span style="display: inline-block; width: 30%; text-align: center;">着工前</span> <span style="display: inline-block; width: 30%; text-align: center;">CHV工法</span> <span style="display: inline-block; width: 30%; text-align: center;">完成</span>			

### ◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は農業用排水路の市道横断工事であり、市道の通行止め期間が定められ、厳しい工程管理が必要な工事であったが、冬期間での施工も考慮しコンクリート二次製品を活用するなどの工夫を行い、工期内に無事工事を完成させた。
- ・鋼矢板打込みにおいては、上空を電力線が通っていることに加え近隣に建物があるなど、現場条件が制限されていたことから、早期に工法検討を行いCHV工法の採用により、周辺の施設に影響を与えることなく工事を完成させた。
- ・定期的に工事だよりを作成・配布したほか、現場近くの高岩神社の関係者からの要望により看板の移設や場内整備も行うなど、受益者のみならず地域住民と積極的にコミュニケーションを図った。

### ◆施工業者からのPR

- ・市道排水横断工においては、近隣の小屋の倒壊及び架空線接触の問題があり低振動・低騒音・空頭制限下での作業ができるCHV工法を採用し、監督職員との打合せを早期に行い工程に遅れることなく無事完了させました。
- ・工事にあたっては、地域住民に工事だよりを定期的に配布し高岩神社においては、関係者の要望を取入れ看板の移設・場内整備を行い関係を良好に保つ事で工事を円滑に進めることができました。
- ・今後も工事への理解と協力が得られるように、地域住民とのコミュニケーションを大切にしたいと思います。



## 9 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

### ◆工事概要

工 事 名	能代港第2灰捨護岸建設工事 29-Z102-10		
路河川名/地区名	能代港外港地区	施工地名	能代市河戸川
商号又は名称	大森・清水・杉本特定建設工事共同企業体		
請 負 額	432,761,400 円	工 種・格 付	一般土木 A級
代 表 者	大森建設株式会社 代表取締役 大森 三四郎		
許可番号	05-081607	監理技術者等	監理技術者 赤川 一
(構 成 員)	株式会社清水組 代表取締役社長 清水 重輝		
(許可番号)	00-011421	(監理技術者等)	主任技術者 鈴木 寛
(構 成 員)	株式会社杉本組 代表取締役 嶋宮 信雄		
(許可番号)	05-000614	(監理技術者等)	主任技術者 原田 隆彦
監督実施公所	能代港湾事務所 (建設部)		
主任監督員	小野 伸太郎	監 督 員	寺山 大輔
工 期	平成29年6月2日～ 平成30年1月31日	完成年月日	平成29年12月18日
概 要	1) 施工延長 L=630.2m      2) 上部コンクリート工 V=737m <sup>3</sup> 3) パラペット工 325m      4) 消波ブロック工 (30・32t) 1,180個		
特 徴	1) 外港部に新たに築造する構造物であるため、波浪・潮流の影響を直接受ける工事である		
写 真			
			
着工前		完成	

### ◆監督実施公所の推薦理由

- ・海上工事と陸上工事が混在する工事であり、海象、気象による作業効率や現場条件の変化への対応、多様な工種のマネジメントが必要となる難易度の高い工事である。また、関連工事が複数存在するため、本工事の工程管理及び施工にあたっては、密に工事間調整を実施した。
- ・さらに今回の工事においては、冬季風浪等による海底地盤線の変動に起因する設計の変更や次年度工事を考慮した工事等が必要となった。
- ・そのような条件下で、作業の効率化等により期限内に工事を完成させるとともに、出来形や品質も高度な管理を確保しており、他の工事の模範となるものであった。

### ◆施工業者からのPR

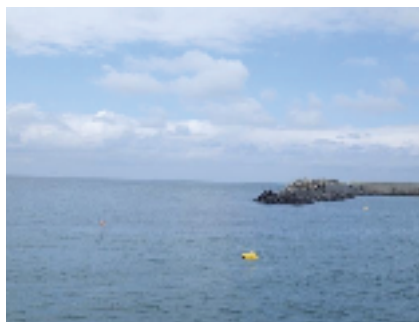
- ・マイナス8.0m付近の水中部へ、4 t型袋詰め石の据付が1944袋と多くあり1個吊りでの据付作業では、潜水士への負担と時間が掛かりすぎると考え、4個吊り用の天秤を作成して潜水士の負担と時間を短縮することができました。
- ・現場はケーソン上部を通行しての工事現場で、他工区との混在する現場でもあることから、資材搬入時の大型車両の後進は、他工区の間を通り抜ける必要があり、交通災害が起こらないよう後進時の誘導に配慮しました。

# 10 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

## ◆工事概要

工 事 名	能代港第2灰捨護岸建設工事 29-Z102-20		
路河川名/地区名	能代港外港地区	施工地名	能代市河戸川
商号又は名称	中田建設・三和興業特定建設工事共同企業体		
請 負 額	418,776,480 円	工 種・格 付	一般土木 A級
代 表 者	中田建設株式会社 代表取締役社長 中田 潤		
許可番号	00-002898	監理技術者等	監理技術者 佐藤 広樹
(構 成 員)	三和興業株式会社 代表取締役 武田 鋭彦		
(許可番号)	05-080626	(監理技術者等)	主任技術者 小川 洋平
監督実施公所	能代港湾事務所 (建設部)		
主任監督員	小野 伸太郎	監 督 員	寺山 大輔
工 期	平成29年6月2日～ 平成29年12月18日	完成年月日	平成29年12月18日
概 要	1) 施工延長 L=209.8m      2) 上部コンクリート工 1,411m <sup>3</sup> 3) 上部ブロック 100個      4) パラペット工 80.3m		
特 徴	1) 外港部に新に築造する構造物であるため、波浪・潮流の影響を直接受ける工事である		

### 写 真



【着工前】



【完 成】

## ◆監督実施公所の推薦理由

- ・海上工事と陸上工事が混在する工事であり、海象、気象による作業効率や現場条件の変化への対応、多様な工種のマネジメントが必要となる難易度の高い工事である。また、関連工事が複数存在するため、本工事の工程管理及び施工にあたっては、密に工事間の調整を実施した。
- ・そのような条件下で、作業の効率化等により期限内に工事を完成させるとともに、出来形や品質も高度な管理を確保しており、他の工事の模範となるものであった。

## ◆施工業者からのPR

- ・本工事は、他工区と輻輳する為、定期的で開催している安全連絡協議会において月間工程の確認や、様々な情報交換を行った。また、隣接工区とは、作業区域が重複しないように毎日作業打合せや事前調整を行いながら作業を進めることで、トラブルや後戻りなく工事を完成することができた。
- ・上部型枠ブロックの施工においては、波浪や他工区との調整を考慮し、複数の組立、据付を行うことにより、まとめてコンクリートミキサー船で打設することで、工程の短縮やコスト低減につながった。

# 11 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

## ◆工事概要

工事名	ねむり川地区 ため池等整備（用排水）工事 00802-K01		
路河川名/地区名	ねむり川地区	施工地名	男鹿市福川
商号又は名称	株式会社加藤建設	許可番号	05-002392
請負額	45,279,000 円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 加藤 正己		
監理技術者等	現場代理人 相馬 公生		
監督実施公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	保坂 学	監督員	今西 洋平
工期	平成29年9月25日～ 平成30年3月15日	完成年月日	平成30年3月15日
概要	1) 水路工 (B2.0×H1.0) L=345.4m		
特徴	1) 困難な自然環境への適切な対応		

## 写 真



着工前



完 成

## ◆監督実施公所の推薦理由



- ・本工事は、西部承水路に流入する排水路末端部における工事であり、降雨時には大幅に増水する厳しい施工条件にある。昨冬は、暖気に伴う降雨により複数回の増水があったが、その都度排水ポンプを増設することで、工事を遅滞なく完成させた。
  - ・水路基礎地盤において軟弱層が見られたが、受注者の提案により岩ズリに置き換えた結果、水路の沈下等が生じず、出来映えの良い仕上がりとなった。
  - ・西部承水路沿いであることを考慮し、油流出防止型発電機を用いるなど、環境配慮に努めた。
- 以上の理由により、本工事を優良工事に推薦する。

## ◆施工業者からのPR

- ・施工期間中に複数回の増水に見舞われ、その都度作業中止を余儀なくされた。これに対し、排水ポンプの増設などにより、工程のフォローアップを図った結果、無事に工事を完成できた。
- ・水路基面が軟弱であり、大型水路が沈下する恐れがあったため、岩ズリによる置き換えを提案し、軟弱層の置き換えを行った。これにより沈下等が生じず、水路としての機能を確保できた。
- ・寒冷期コンクリート養生方法として、西部承水路への油流出リスクの無い、電熱シートによる養生方法を採用し、環境配慮に努めた。

## 12 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

### ◆工事概要

工 事 名	孫左衛門川原地区 ため池等整備（用排水）工事 00602-K02		
路河川名/地区名	孫左衛門川原地区	施工地名	秋田市太平目長崎
商号又は名称	株式会社渡部機工	許可番号	05-060205
請 負 額	39,437,280 円	工 種 ・ 格 付	法面 A級
代 表 者	代表取締役 藤原 秀則		
監理技術者等	現場代理人 小野 正樹		
監督実施公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	茂木 満	監 督 員	伊藤 直史
工 期	平成29年2月24日～ 平成29年9月1日	完成年月日	平成29年6月30日
概 要	1) 法面工（吹付砕工）：A=1,188.1m <sup>2</sup>		
特 徴	1) 幹線用水路の法面を法砕工により保護 2) 仮設の転落防止柵等を任意で設置するなど、安全管理を徹底		
写 真			
  			
<b>着手前</b>		<b>施工中</b> (植生基盤材吹付状況)	
			<b>完 成</b>

### ◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、通学路に隣接した幹線用水路の法面保護工事であることから、仮設工として、法肩に転落防止柵、通学路沿いにバリケードを全線に設置し、安全管理を徹底した。
  - ・市道を通行止めとした工事であったため、事前に小中学校や3町内会にチラシを配布するなど、地元調整を円滑に実施した。
  - ・綿密な施工計画に基づき、徹底した工程管理や安全管理等を実施しており、総じて現場や施工管理資料の出来映えが良い。
- 以上の理由により、本工事を優良工事に推薦する。

### ◆施工業者からのPR

- ・本施工箇所では、法面から微量の湧水が見られ、施工時にモルタルおよび植生基盤材が流出する恐れがあった。これに対し、湧水箇所に暗渠管および吸出防止材を敷設することで、上記の流出を未然に防いだ。
- ・本施工箇所近傍には乳牛の牛舎があり、低騒音・低排出ガス型機械を用いるとともに、施工プラントを牛舎より遠方に配置することで、乳牛へ与えるストレスを軽減するよう努めた。
- ・現場事務所入口に写真等を用いた工事内容に関する掲示板を設置し、本工事を広く地域住民に理解してもらうよう努めた結果、苦情等トラブル無く工事を完成できた。

# 13 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

## ◆工事概要

工事名	五里合地区 農地集積加速化基盤整備工事 06202-K20		
路河川名/地区名	五里合地区	施工地名	男鹿市五里合神谷
商号又は名称	株式会社杉本組	許可番号	05-000614
請負額	149,551,920円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 嶋宮 信雄		
監理技術者等	監理技術者 伊藤 武蔵		
監督実施公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	穴倉 利裕	監督員	大門 晃
工期	平成29年3月31日～ 平成30年1月31日	完成年月日	平成30年1月31日
概要	1) 整地工：A=8.4ha 2) 用水路工：L=205m 3) 排水路工：L=1,041m 4) 道路工：L=421m 5) 土取場整備工：N=1式		
特徴	1) 土取場からの基盤土運搬を伴う区画整理工事 2) 土取場の跡地整理を実施		
写 真			
			

## ◆監督実施公所の推薦理由



- ・本工事は、近傍の土取場から基盤土を運搬し、農地区画を整備する工事である。基盤土の運搬に際し、運搬車両の安全管理を徹底し、誘導員の適切な配置や、散水車による粉塵飛散防止等に努め、運搬から整地まで一貫して丁寧な施工を実施した。
  - ・土取場の跡地整理として、地権者と細やかな調整を図りながら、土取場整備工（整地工、法面保護工、道路工等）を丁寧に施工し、出来映え良く仕上がった。
- 以上の理由により、本工事を優良工事に推薦する。

## ◆施工業者からのPR

- ・軟弱地盤における流末交差工（柵）基礎において、マットレス工法を採用し、上載荷重を分散させ、せん断抵抗力の増加を図ったことにより、構造物の不同沈下を未然に防いだ。
- ・基盤土運搬において、施工箇所周辺に広がる田畑・住宅への粉塵飛散防止のため、土取場内は敷鉄板上のダンプ走行、運搬経路内は散水車による散水作業を適宜実施した。その結果、近隣農家や一般車両から苦情等無く工事を完成することができた。
- ・着手前に耕作放棄地が多数を占めていた土取場では、地権者との対応を丁寧に重ねた結果、出来映え良く整地することができ、完成後すぐに農地として活用され地権者に喜ばれることとなった。

## 14 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

### ◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金工事（橋梁補修） 29-F154-70		
路河川名/地区名	寺内新屋雄和線	施工地名	秋田市浜田
商号又は名称	株式会社フジペン	許可番号	05-006014
請 負 額	29,183,760 円	工 種 ・ 格 付	一般塗装 A級
代 表 者	代表取締役 藤井 龍太郎		
監理技術者等	現場代理人 井田 司		
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	大森 郁夫	監 督 員	松塚 忠政
工 期	平成29年8月25日～ 平成29年12月13日	完成年月日	平成29年12月8日
概 要	1) 館の丸大橋 P11-A2 : L=31.31m , W=6.5m (10.75) m 2) 塗装塗替 : A=1,000㎡		
特 徴	1) スプレーミストの飛散防止 2) 隣接する工区との工程調整		
写 真			
			
着手前		完成後	

### ◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、館の丸大橋（平成6年度竣工）の第12径間における鋼桁再塗装工事である。ケレンから一連の塗装工程において細やかな出来形・品質管理を実施し、優れた出来映えで工事を完成させた。
  - ・NETIS登録の高塗着スプレー工法を採用することで、均質な塗膜厚を得て品質を向上させ、作業環境改善による安全性の確保、吹き付け時のスプレーミスト飛散防止による第三者への被害防止など環境保全に努めた。
  - ・別途発注となった隣接する鋼桁再塗装工事、落橋防止システム設置工事との重複施工にも関わらず、互いに密な工程調整を実施し、当初の工期を延長することなく無事故で完成させた。
- 以上の理由により、本工事を優良工事に推薦する。

### ◆施工業者からのPR

NETIS登録の高塗着スプレー工法を採用することにより、下記①～③を実現できた。

- ①スプレーミスト飛散防止による近隣家屋への塗料飛散防止
- ②スプレーミスト飛散防止による作業員の視野確保
- ③塗着効率向上による塗装品質確保

以上により苦情等トラブル無く、出来映え良く工事を完成させた。

# 15 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

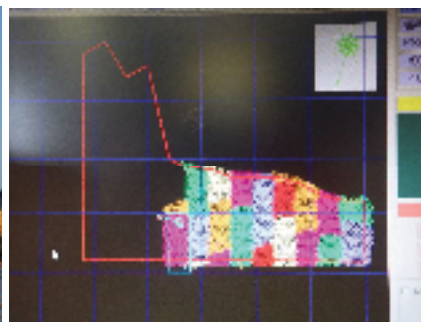
## ◆工事概要

工 事 名	県単港湾整備工事 28-0261-30		
路河川名/地区名	船川港本港地区	施工地名	男鹿市船川港船川
商号又は名称	株式会社沢木組	許可番号	05-005082
請 負 額	78,896,160 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 沢木 則明		
監理技術者等	監理技術者 能登谷 孝介		
監督実施公所	船川港湾事務所（建設部）		
主任監督員	熊谷 孝一	監 督 員	佐藤 雄大
工 期	平成28年12月26日～ 平成29年4月21日	完成年月日	平成29年4月21日
概 要	1) 施工延長：260m 2) グラブ浚渫DH=-9.1m：14,010m <sup>3</sup> 3) 仮置土運搬処理：5,000m <sup>3</sup> 4) 土砂仮置場造成工：1式		
特 徴	1) GPS施工管理システムを用いた施工効率および精度の向上 2) 海洋環境保全		

## 写 真



浚渫状況  
(密閉式ワイドバケット)



GPS施工管理システム



汚濁防止膜設置状況

## ◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、船川港(本港地区)へクルーズ船が寄港するにあたり、必要な水深を確保するために実施した浚渫工事である。受注者は、海上起重機船にGPS施工管理システムを搭載し、施工の効率化および施工精度の向上を図った。
  - ・浚渫グラブへの密閉式ワイドバケットの採用や、揚土場への汚濁防止膜設置により、工事区域周辺における海洋汚濁防止に努めた。
- 以上の理由により、本工事を優良工事に推薦する。

## ◆施工業者からのPR

- ・海上起重機船にGPS施工管理システムを搭載することで、施工精度の向上を図り、全ての測点において設計水深に対して±10cm以内に収めることができ、設計土量との差異を低減できた。
- ・海洋汚濁防止のため、密閉式ワイドバケットの採用、揚土場への汚濁防止膜設置および工事区域周辺における水質測定の実施など環境保全に努めた。

# 16 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

## ◆工事概要

工 事 名	飯島ふ頭用地造成工事 29-Z601-20		
路河川名/地区名	秋田港飯島地区	施工地名	秋田市飯島
商号又は名称	秋田舗道株式会社	許可番号	05-001796
請 負 額	37,937,160 円	工種・格付	ほ装 A級
代 表 者	代表取締役社長 青池 宏志		
監理技術者等	現場代理人 関谷 文彦		
監督実施公所	秋田港湾事務所（建設部）		
主任監督員	菅原 昭磨	監 督 員	藤原 隆幸
工 期	平成29年6月2日～ 平成29年7月31日	完成年月日	平成29年7月31日
概 要	1) 施工延長：L=177m 2) 表層工：A=7,660㎡ ②密粒度As (13) 重荷重用・高塑性変形抵抗性プレミックス型特殊改質型：t=5cm		
特 徴	1) 特殊アスファルト舗装合材を用いた舗装工事		

### 写 真



完成写真



アスファルト舗設状況

## ◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、飯島ふ頭用地造成における舗装工事である。表層工舗設時において、アスファルトフィニッシャーに舗装厚自動制御装置(センサー)を搭載し、平坦性向上に努めた結果、出来形が優れ、出来映えも良く仕上がった。
  - ・港湾荷役車両等の重荷重条件に対し、高い塑性変形性を有するアスファルト合材を用いており、通常のストレートアスファルトよりも粘性が高いことから、タイヤローラーへの付着に留意しながらの施工が必要となった。この対策として、アスファルト付着防止剤に水溶性のものを使い、海面流出に備えるなど環境保全に努めた。
- 以上の理由により、本工事を優良工事に推薦する。

## ◆施工業者からのPR

- ・アスファルトフィニッシャーに舗装厚自動制御装置(センサー)を装備し、平坦性向上に努めた結果、標準偏差0.8mmという高い精度の舗装平坦性を実現できた。
- ・アスファルト舗装密度測定器(PQI)を採用し、転圧作業中から舗装密度を測定することにより、転圧不足を回避し、良好な品質確保に努めた。
- ・本工事施工箇所には、複数工事の施工業者が混在したため、安全連絡協議会を発足し、相互の事故防止、工事工程調整を図った結果、工事を遅滞なく完成させた。



## 17 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

### ◆工事概要

工 事 名	統合補助改修工事 29-PC12-10		
路河川名/地区名	船川港本港地区	施工地名	男鹿市船川港船川
商号又は名称	株式会社清水組	許可番号	00-011421
請 負 額	68,874,840 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役社長 清水 重輝		
監理技術者等	監理技術者 中川 博美		
監督実施公所	船川港湾事務所（建設部）		
主任監督員	熊谷 孝一	監 督 員	佐藤 雄大
工 期	平成29年5月19日～ 平成29年8月31日	完成年月日	平成29年8月31日
概 要	1) 施工延長：L=350m 2) グラブ浚渫：V=12,030m <sup>3</sup>		
特 徴	1) クルーズ船寄港までの限られた工期 2) 迅速な災害復旧		

### 写 真



浚渫状況



GPS施工管理システム

### ◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、船川港（本港地区）へクルーズ船が寄港するにあたり、必要な水深を確保するために実施した浚渫工事である。クルーズ船寄港日までに工事完了、水路測量の実施、第二管区海上保安本部への測量結果報告が求められ、時間的制約が非常に大きい工事であった。
  - ・受注者は、土運船の増隻およびGPS施工管理システムの採用により、施工性向上を図り、無事に寄港予定日のクルーズ船入港を可能にした。
  - ・男鹿ナマハゲロックフェスティバル会場通路に隣接する浚渫土仮置場法面が、豪雨により崩壊したが、受注者の迅速な復旧により、フェスティバル開幕までに通路の通行を可能にした。
- 以上の理由により、本工事を優良工事に推薦する。

### ◆施工業者からのPR

- ・船川港は春から夏にかけて、南寄りの風が集束することにより波浪が強まる特徴を有し、港内であっても作業中止日数が増加する傾向にある。このような施工条件下で、クルーズ船寄港までに浚渫作業を終え、一連の測量手続きを完了させるために、土運船の増隻やGPS施工管理システムの利用など、作業効率の向上に努めた。その結果、無事にクルーズ船の寄港を可能にした。
- ・浚渫土仮置場法面の崩壊に対しては、男鹿ナマハゲロックフェスティバルが控えている中、迅速に復旧作業に当たり、無事にそして安全にフェスティバルの開催に至ることができた。

# 18 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

## ◆工事概要

工 事 名	岩木地区 ため池等整備（ため池）工事 01605-K03		
路河川名/地区名	岩木地区	施工地名	由利本荘市岩谷麓
商号又は名称	菊地建設株式会社	許可番号	05-001240
請 負 額	158,008,320 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 橋本 一康		
監理技術者等	現場代理人 佐々木 重樹		
監督実施公所	由利地域振興局（農林部）		
主任監督員	加賀 博文	監 督 員	茂内 博哉
工 期	平成29年3月24日～ 平成30年3月20日	完成年月日	平成30年3月20日
概 要	1) 工事用道路工N=1式 2) 洪水吐工N=1式 3) 底樋工N=1式 4) 斜樋工N=1式 5) 堤体工N=1式 6) 土取場工N=1式 7) 仮設工N=1式		
特 徴	1) 工程管理の調整 2) 品質向上に向けた工夫 3) 安全管理の工夫		
写 真			
			
堤体工		洪水吐工	
			斜樋工

## ◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、ため池改修を行うものである。近接する別件グラウト工事や多工種が混在する厳しい工程の中、厳密な工程管理や盛土品質管理等の工夫により、春の通水に支障なく完成させた。
  - ・コンクリートの打設（洪水吐）において、急勾配であったため、昇降階段の設置、スペーサーブロックの工夫や乾燥収縮の低減を図るなど、品質向上の取組がなされた。
  - ・掘削法面の土砂流出防止の為、安全ネット設置と巡視員を配置し、作業時の事故防止が図られた。
- 以上により、本工事は他の模範とできることから優良工事として推薦する。

## ◆施工業者からのPR

- ・掘削法面の転石への対応について、安全対策や作業の効率化に努めた。
- ・他工種との工程調整や、品質管理の効率化に努めた。
- ・急勾配箇所のコンクリート打設について作業の効率化に努めた。

# 19 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

## ◆工事概要

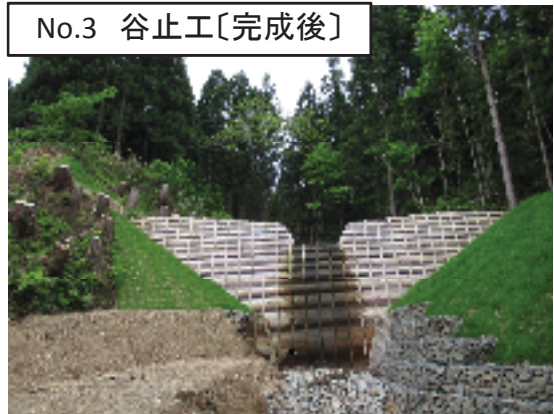
工 事 名	砂子沢地区 予防治山工事 RE1113A601		
路河川名/地区名	砂子沢地区	施工地名	由利本荘市矢島町川辺
商号又は名称	矢島建設株式会社	許可番号	05-000224
請 負 額	44,978,760 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 土田 克夫		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 直哉		
監督実施公所	由利地域振興局（農林部）		
主任監督員	田村 宏一	監 督 員	村川 晋
工 期	平成28年8月5日～ 平成29年12月20日	完成年月日	平成29年12月20日
概 要	1) 治山ダム（コンクリート嵩上谷止工1基、コンクリート谷止工1基）2基 V=421.1m <sup>3</sup> 2) 仮設道路 L=220.0m、W=3.6m		
特 徴	1) 施工地の渓流は、溪床幅が狭く、V字形の地形を呈していた 2) 同一施工区域内において、複数の工事が行われていた		

### 写 真

No.3 谷止工〔着手前〕



No.3 谷止工〔完成後〕



## ◆監督実施公所の推薦理由

- ・当該渓流は、急峻で溪床幅も非常に狭く、現場までの道路も幅が狭く急勾配で急カーブという非常に悪条件の中での工事であり、また、同一渓流内には、工期や施工区域が重複する別の治山工事が施工されており、工程や安全管理への配慮が特に大変な工事であった。
- ・更には、当該地区の右岸側は埋蔵文化財指定地であり、関係機関との調整に不測の日数を要したほか、掘削作業では特に慎重な施工が必要とされる工事であった。
- ・上記のような非常に厳しい条件の中、工期の遅れ・労働災害・地元住民とのトラブルも無く、工事の出来映えも良好であったことから、表彰に値するものである。

## ◆施工業者からのPR

- ・現場搬入路が狭く急勾配であったことから、路面上の土砂や落ち葉によるスリップ事故を防止するため、高圧洗浄機での清掃等を徹底し、安全運行に努めた。
- ・立木の伐採に伴い、地元関係者との施工調整を速やかに行うとともに、個々の要望に添うなど地域貢献に努めた。
- ・既設コンクリートダム工のチップング作業を機械化することにより、作業の効率化と高所作業の低減に努めた。

## 20 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

### ◆工事概要

工 事 名	三条川原地区 農地集積加速化基盤整備工事 05603-K09		
路河川名/地区名	三条川原地区	施工地名	大仙市北檜岡
商号又は名称	株式会社小笠原組	許可番号	05-060314
請 負 額	67,471,920 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 小笠原 武男		
監理技術者等	現場代理人 加藤 誠		
監督実施公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	佐藤 則志	監 督 員	近藤 広貴
工 期	平成29年3月31日～ 平成29年11月30日	完成年月日	平成29年9月11日
概 要	1) 整地工 A=4.1ha                      3) 道路工 L=571m 2) 水路工 L=1,111m		
特 徴	1) 他工区からの搬入土受入れによる連絡調整及び工程管理の徹底 2) 地元とのコミュニケーション及びラジオによる事業PRと工事情報提供の実施		

### 写 真

完成（全景）



積極的な地域貢献



### ◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 搬入土を含めたV=11,193m<sup>3</sup>の土量移動を伴う工事であり、本施工業者が安全協議会の幹事役として各工区の業者や地元関係者等との調整を図ったことにより、円滑な工事完成が実現できた。
- ・ 7月22～23日に発生した豪雨により当該現場も水没したが、安全管理の徹底により大きな被害はなく、全体的な工程管理が徹底されており予定工期を大幅に短縮して完成できた。
- ・ 現場周辺のクリーンアップや草刈りの他、地域ラジオを活用した情報提供や事業PR、現場で捕獲したザリガニを神岡小学校へ寄贈し学習に役立ててもらうなど、地元住民との交流にも積極的であった。

### ◆施工業者からのPR

- ・ 本工事は面積の大部分が軟弱で作付困難区域であり、購入土を用い盤上げをしてその後他工区からの搬入土を受け入れる工事であったため、監督員、他工区の現場代理人との連絡を密にとり、天気の良い時期を逃すことなく作業を行い、7月15日には受入作業も終了し、8月中には工事完成ができた。
- ・ 地域ラジオを活用し交通規制情報の他に、監督員と相談をし『ほ場整備工事のPR』と題して、県でのほ場整備の取組みなどを発信して情報提供に努めた。

## 2 1 第 3 9 回 秋 田 県 優 良 工 事 表 彰 受 賞 工 事

◆工事概要			
工 事 名	藪台地区 農地集積加速化基盤整備工事 04506-K03		
路河川名/地区名	藪台地区	施工地名	大仙市寺館・北野目
商号又は名称	有限会社県南開発工業	許可番号	05-010594
請 負 額	45,281,160 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 高橋 勲		
監理技術者等	現場代理人 茂木 直樹		
監督実施公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	長谷部 博行	監 督 員	三澤 克則
工 期	平成29年10月30日～ 平成30年3月29日	完成年月日	平成30年3月29日
概 要	1) 用水路工 L= 54m 2) 排水路工 L=144m		
特 徴	1) 大型排水路施工時の作業効率・精度向上のための取り組み 2) 新技術（NETIS登録）ジオセル工法の採用		
写 真			
完成（排水路）		完成（ジオセル工法）	
排水路作業状況			
			
			

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大型排水路布設時に、据付作業の効率向上・精度向上のため基面に均しコンクリートを打設し据付を行った結果、規格値の50%以内の精度で据付されており埋戻し後の不等沈下も発生しなかった。</li> <li>・ 平成29年7月の豪雨に崩壊した排水路法面の復旧においてL型擁壁を設置する計画であったが、崩落箇所上面に家屋があり狭隘なため大型重機を配置するスペースが無く、掘削断面からも家屋に影響を与える可能性が考えられた。そのため、施工業者から大型重機を必要としない新技術「ジオセル工法」の提案があり検討した結果、工法変更を行うこととした。</li> </ul>

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冬期間中の大型排水路工事であったが、地区外からの排水が集まる流末部であり水量も多かったため、極力動力を必要とするポンプ排水作業を避ける計画とした。関係者から借地承諾を得て、仮廻し水路を設置したことにより、大型排水フリーム施工時は床面もドライな状態で施工することができた。</li> <li>・ ジオセルの材質は高密度ポリエチレンで形状はハニカム構造になっており中詰め材を拘束する構造になっている。また、軽量なため人力で運搬し小型の重機で砕石を投入する作業であるため、狭隘な箇所でも周囲に影響がなく施工することができた。</li> </ul>

## 22 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	地方道路交付金工事（改築） HF36-20		
路河川名/地区名	国道105号	施工地名	仙北市西木町桧木内
商号又は名称	佐藤建設株式会社	許可番号	05-002576
請負額	66,388,680円	工種・格付	ほ装 A級
代表者	代表取締役 田村 保		
監理技術者等	現場代理人 佐々木 忍		
監督実施公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	佐々木 順一	監督員	佐藤 三紀
工期	平成29年7月10日～ 平成30年1月31日	完成年月日	平成29年12月22日
概要	1) 施工延長 L=420.0m 2) アスファルト舗装工 A=3,720㎡ 3) 道路土工、側溝工、防護柵工、区画線工 N=1式		
特徴	1) 供用しながらの道路拡幅における品質確保及び効率化への工夫 2) ドローンを活用した現場管理の実施		
写 真			
道路供用状況(平成30年6月撮影)			
			

◆監督実施公所の推薦理由	
<p>本工事は、狭隘で線形が不良な国道105号草峠地区の改良を目的としており、交通量が多い現道上で工事でありながら、工区内における通行帯の確保やドローン撮影による安全性の検証、標示への工夫など、安全管理に細心の注意を払いながら、工事期間を無事故で終えた。</p> <p>また、締固めが不足しがちな既設舗装との境界付近の施工管理を入念に行って品質を確保したほか、既設舗装の取壊しでは路面切削機を使用することによって大幅な工期短縮を実現し、当年度に発生した豪雨災害の影響により危惧されていた降雪期前の供用を果たしている。</p> <p>以上のことから、優良工事表彰にふさわしいものとする。</p>	

◆施工業者からのPR	
<p>国道105号において現道を供用しながらの施工であったため、安全管理と道路利用者への配慮を徹底して無事故無災害で工事を終えている。</p> <p>設計照査及び現地照査から施工方法（レベリングによる現道嵩上げを下層路盤構築へ切り替える）を提案して工程短縮とコスト削減を実施した。</p> <p>工事期間中は降雨量も多く、急な大雨に対しても現道交通の安全を確保するため、休日中の路面メンテナンスを行った。</p> <p>また、品質管理では現場代理人が路盤の現場密度試験を自ら実施し、巻出し各層や端部及び隅切り部分についても締固め機械の適切な選定により規格値以上の密度であることを確認した。舗設時期が低温期であったため、合材の温度管理を時系列で確認できるようにトレーサビリティを実施し、品質向上に努めた。</p> <p>そのほか、ドローン撮影による定点観測を履行報告に利用した。</p>	

## 23 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

### ◆工事概要

工事名	県単河川改良工事（自然防止債） K348-10		
路河川名/地区名	大沢川	施工地名	大仙市大沢郷寺
商号又は名称	株式会社齋兵組	許可番号	05-009969
請負額	42,441,840 円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 齋藤 法		
監理技術者等	現場代理人 古川 雄太		
監督実施公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	富田 彰	監督員	高橋 玄
工期	平成29年10月2日～ 平成30年3月23日	完成年月日	平成30年3月23日
概要	1) 施工延長 154m 2) 河川土工 1式 3) 護岸工(平ブロック張) 141㎡ 4) 排水工 154m 5) CLT橋 1橋		
特徴	1) 大沢川の氾濫を防ぐための築堤・護岸工事である 2) CLT材を使用した橋梁を設置した		

### 写真



### ◆監督実施公所の推薦理由

- ・護岸の施工管理を延長方向・高さ方向共に高頻度で行ったことにより、優れた出来映えとなった。また、盛土材の改良に関しては、施工時期と気象条件をよく理解し、品質管理の徹底に努めたため、出来形・品質ともに他工事の模範となるものだった。
- ・現場施工の方法に不明瞭な点があったCLT橋梁に対し、設計者や制作者と密な打ち合わせを行ったことにより、材料の特性や現場条件をよく理解し、スムーズな施工を実現した。
- ・住民理解や地域貢献の活動に尽力し、工事を円滑に完了させたことは高く評価できる。

### ◆施工業者からのPR

本工事は冬期の施工で築堤盛土の品質確保が課題だったが気象条件での品質低下のないように努めた。  
また、現場の出来栄がよくなるように座標値、基準高等密に管理することで完成することができた。  
毎月工事だよりを作成し配布することで地元住民ともコミュニケーションをとり、現場見学会を開き、技術・工法等学ぶ機会を作ることができた。  
今後も地域社会に貢献できるように努めたい。

## 24 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	河川災害関連工事 KF11-40		
路河川名/地区名	齊内川	施工地名	大仙市清水
商号又は名称	仲周建設株式会社	許可番号	05-000219
請 負 額	60,050,160 円	工 種 ・ 格 付	一級土木 A級
代 表 者	代表取締役 仲野谷 康		
監理技術者等	現場代理人 高橋 駿		
監督実施公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	藤谷 祐介	監 督 員	大橋 俊夫
工 期	平成29年3月27日～ 平成29年12月11日	完成年月日	平成29年11月22日
概 要	1) 復旧延長（左岸）L=233.4m 2) 築堤盛土工V=2,770m <sup>3</sup> 3) 護岸工A=1,037m <sup>2</sup> 4) 遮水シートA=1,152m <sup>2</sup> 5) 植生工A=1,480m <sup>2</sup>		
特 徴	1) 現場条件を考慮した計画的な施工の実施 2) 築堤盛土工における品質向上への取り組み		
写 真			
完成写真		施工状況写真	
			

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本工事は、平成27年7月23日～26日の梅雨前線豪雨による河川災害において被災した堤防の改良復旧工事である。</li> <li>・脆弱化した既設堤体への築堤盛土工においては、余盛土により堤防を補強することで施工時に脆弱箇所を生じさせずに施工するなど適切な施工計画により、工事を完成させた。</li> <li>・余盛土を設けて締固めを行うことによる締固め度の確保対策や盛土各層の表面への排水勾配の設置による施工時の盛土の軟弱化防止対策など品質向上の工夫がみられた。</li> <li>・河川環境への配慮として、創意工夫により、希少魚種（イバラトミヨ雄物型）の生息箇所に配慮した良好なみお筋が形成されるよう河道整正を実施した。</li> </ul>

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> <li>・出水期の洪水による再度災害防止の為、品質管理及び工程管理で次の様な工夫を行った。このことにより、平成29年7月、8月の2度の洪水においても被害を受けることなく、早期に工事が完成した。</li> <li>・品質管理では、計画堤防断面細部まで締固めを確保するため、川表側、川裏側それぞれに余盛土を施工した。また、各層の余盛土幅と排水勾配施工基準高を測定し、新たに写真管理及び参考管理図を設けて施工途中における品質の向上に努めた。</li> <li>・工程管理では、川表の余盛土で堤防を補強したうえで川裏の段切り作業を一連で行うことで作業の効率化を図った。</li> </ul>



## 25 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要				
工 事 名	横手地区 農地集積加速化基盤整備工事 06603-K17			
路河川名/地区名	横手地区	施工地名	横手市赤坂	
商号又は名称	株式会社最上田組		許可番号	05-006460
請 負 額	147,672,720 円	工 種 ・ 格 付	一級土木 A級	
代 表 者	代表取締役 最上田 政司			
監理技術者等	現場代理人 奥山 厚己			
監督実施公所	平鹿地域振興局（農林部）			
主任監督員	大木 寛	監 督 員	渡部 紘宣、桜庭 維吹	
工 期	平成29年3月28日～ 平成29年12月22日	完成年月日	平成29年12月4日	
概 要	1) 整地工 A=11.4ha      2) 用水路工 L=1,262m 3) 排水路工 L=1,935m      4) 道路工 L=1,255m			
特 徴	1) 精度の高い整地作業と水路の長寿命化対策の実施 2) 工事安全協議会会長として率先して安全な施工体制を構築			
写 真				
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>				
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>支線排水路</span> <span>全景</span> <span>溝切りによる排水促進</span> </div>				

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レーザーレベルや丸鋼を使用し高精度の整地作業を実施したほか、用水路の施工においては、30m毎に伸縮目地を施工しコンクリート製品の長寿命化対策を行った。</li> <li>・ 盛土の天端面整形にレーザーレベルを使用しており、土工の仕上がりが優れていた。</li> <li>・ ブルドーザに専用アタッチメントを取り付け、レーザーレベルを併用し溝切りを行うことで田面の排水を促進し、品質の高い整地作業を実施した。</li> <li>・ 横手地区の面工事受注者(全13工区)で組織する工事安全協議会の会長として、現場内の安全管理等に率先して取り組むとともに、他工区受注者及び地元関係者等との連絡調整を行ったことにより、全工区において円滑に工事が進められた。</li> </ul>

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整地工全般において、フルオートレーザーレベルの使用で整地均平度の精度向上ができた。またバックホウによる畦畔溝畔の仕上げでは、丁張の簡素化や人為的ミスの防止もできた。</li> <li>・ 天然ヤシ繊維で構成されたバイオフィルターの使用で、河川への濁水流出防止を図った。</li> <li>・ 用排水路の二次製品はスラグ入りを使用し、取水及び排水に使用する塩ビ管は、県認定のリサイクル製品を使用した。</li> <li>・ 天候の良い時期に集中施工ができるよう自社持ち作業機械の台数を増やし工程管理を行なった結果、予定工期より20日ほど早期完成ができた。</li> </ul>

## 26 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	深沢地区 予防治山工事 RG1113A901		
路河川名/地区名	深沢地区	施工地名	横手市山内南郷
商号又は名称	宮原組・横手建設特定建設工事共同企業体		
請負額	94,551,840円	工種・格付	法面 A級
代表者	株式会社宮原組 代表取締役 宮原 竜也		
許可番号	05-010808	監理技術者等	現場代理人 瀧澤 龍也
(構成員)	横手建設株式会社 代表取締役 武茂 広行		
(許可番号)	05-001001	(監理技術者等)	主任技術者 向川 顕広
監督実施公所	平鹿地域振興局 (農林部)		
主任監督員	佐々木 徹	監督員	三沢 寿
工期	平成29年6月16日～ 平成30年1月31日	完成年月日	平成29年12月12日
概要	1) 地すべり防止工事 グランドアンカー工 51本		
特徴	1) 河川に隣接した地すべり地内での工事 2) 降雨時に備えた事前対策の徹底		
写 真			
			
施工前		完成	
			施工状況

### ◆監督実施公所の推薦理由

- ・当該工事は、河川に接した山腹斜面に地すべり性の崩壊が発生したため、山林はもとより、河川や下流の集落への災害を防止するグランドアンカー工を主体とした地すべり対策工事である。
- ・グランドアンカー工の掘削には、位置調整の容易なスライドベース付きボーリングマシンとケーシングの着脱を効率よくする磁石の付いたウインチを使用して、作業員の負担軽減と工期短縮につなげた。
- ・施工中の現場の安全対策として、豪雨前の雨水の流入や沢水の排水などの状況を常に把握するなど水対策に万全を期していたため、地山の変動などによる被災はなく、良好な出来映えである。

### ◆施工業者からのPR

- ・滑動している地すべり地内での施工であることから、作業の安全性を高めるため「土砂崩れ検知・警報装置(NETIS登録製品)」を活用し、さらに事前の降雨対策を十分に行うことにより河川の増水や豪雨の影響を受けることなく、無事故で完成することができた。
- ・グランドアンカー施工時は独自の計測器を作製し、削孔の配置誤差を規格値の20%以内に収めるなど、施工精度の向上を図った。
- ・地域への貢献活動や積極的な交流の積み重ねにより、工事への理解と協力が得られた。

## 27 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	地方道路交付金工事（橋梁補修） F157-10		
路河川名/地区名	(主)横手大森大内線	施工地名	横手市大森町
商号又は名称	伊藤・吉田特定建設工事共同企業体		
請負額	305,107,560円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	伊藤建設工業株式会社	代表取締役	中村 清昭
許可番号	00-024734	監理技術者等	現場代理人 杉山 幸一
(構成員)	株式会社吉田建設	代表取締役	吉田 博行
(許可番号)	05-002514	(監理技術者等)	主任技術者 井上 亨
監督実施公所	平鹿地域振興局（建設部）		
主任監督員	柳橋 和敏	監督員	高野 健一
工期	平成28年7月1日～ 平成29年11月20日	完成年月日	平成29年11月15日
概要	1) 施工延長 L=167.8m 2) 床版取替工 A=2,085㎡ 3) 舗装工 A=1,880㎡ 4) 橋梁用高欄工 L=336m 5) 塗替塗装工 270㎡		
特徴	1) 早期交通解放に向けての橋梁上部コンクリートの品質確保 2) 大上橋全面通行止作業における施工調整		
写 真			
完成写真	床版コンクリー打設状況		現場見学会(大雄小学校)

### ◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、全面通行止めを伴った床版取替を主とし、計画面、安全面及び出来形、品質確保の面から高度な技術が求められる難易度の高い橋梁補修工事である。
- ・全面通行止めでは早い段階から地域、関係機関に情報周知し、通行止め期間内に確実に工事が完了するよう綿密な工程管理を行った。
- ・コンクリート品質向上のため、NETIS登録されている工法を積極的に実施、ドローンによる出来形管理を行うなど出来形、品質とも良好であった。
- ・現場見学会や、豪雨で被災した家屋の後片付けの手伝いなど、積極的に地域貢献活動を行った姿勢は評価できる。

### ◆施工業者からのPR

- ・大上橋上部コンクリート打設は、全面通行止の期間を定め、早期交通解放を実現させるよう、早期に強度が得られるコンクリートを使用し早期解放に努めた。
- ・品質確保においては、外気温度の上昇しない早朝時に打設し品質管理を行った結果、品質の良いコンクリートを確保することができた。
- ・子供たちにとって貴重な体験になるよう、普段は立入る機会のない、工事現場に入り、測量機器・工事材料などを見学してもらうほか、重機への試乗などを実施し地域の方々と交流を図った。

## 28 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

### ◆工事概要

工事名	地方道路交付金工事（改築） 28-HF42-K1		
路河川名/地区名	国道107号	施工地名	横手市雄物川町大沢
商号又は名称	株式会社吉田建設	許可番号	05-002514
請負額	44,528,400円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 吉田 博行		
監理技術者等	現場代理人 柿崎 健二		
監督実施公所	平鹿地域振興局（建設部）		
主任監督員	柳橋 和敏	監督員	高野 健一
工期	平成29年4月28日～ 平成29年10月10日	完成年月日	平成29年10月10日
概要	1) 施工延長 L=120.3m 2) 道路土工 1式 3) カルバート工 L=92.0m 4) 排水構造物工 L=126m 5) 下層路盤工 A=1,100㎡ 6) 表層工 A=1,120㎡		
特徴	1) 供用中の道路や近隣の民家に配慮した施工 2) ICT施工を用いての盛土施工		

### 写 真



完成写真



ICT機械による施工状況



地元高校生を招いての現場見学会




### ◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事はバイパスの盛土工事を主とし、受注者提案により全県に先駆けてICT技術に取り組んだ工事である。
- ・作業の効率化やICT技術の活用により出来形、品質ともに高度な精度を確保しており、他工事の模範となる工事である。
- ・地元高校生を対象に現場見学会を開催するなど、建設産業の担い手確保やイメージアップに取り組む姿勢が評価できる。

### ◆施工業者からのPR

- ・本工事は、ICT活用モデル工事として測量から施工、出来形管理までICT技術を取り入れた結果、作業の効率化が図られたうえ出来形・品質ともに良好な数値が得られた。
  - ・ICTという新しい技術に触れることで技術者のスキルアップにも繋がった。
  - ・建設部主催の見学会に視察現場として協力し、地元高校生に最新の土木工事の魅力や、やりがいなどを伝えることができた。
- また、参加者からは「土木工事に対するイメージが大きく変わった」「新しい技術にとっても興味を覚えた」などの意見が聞かれ、建設業のイメージアップに貢献できた。

## 29 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	明治地区 特定農業用管水路等特別対策工事 00602-K01		
路河川名/地区名	明治地区	施工地名	羽後町新町
商号又は名称	株式会社小野建設	許可番号	05-006332
請 負 額	65,544,120 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 小野 雅敏		
監理技術者等	現場代理人 柴田 浩秀		
監督実施公所	雄勝地域振興局（農林部）		
主任監督員	嶋津 光人	監 督 員	今田 裕樹
工 期	平成29年10月30日～ 平成30年3月23日	完成年月日	平成30年3月23日
概 要	1) 管水路工 L=516.8m 2) 石綿管撤去 L=497.1m		
特 徴	1) 既設石綿管を破損させないための人力作業 2) 周辺への環境配慮及び地域貢献の取り組み		
写 真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>【完成】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【作業状況】</p>  <p>既設管撤去</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ダクタイル鋳鉄管布設</p> </div> </div>			

### ◆監督実施公所の推薦理由

- ・既設農業用管水路（石綿含有管）の撤去に際し、あらかじめ主要箇所を人力掘削により埋設位置及び深さを確認してから機械掘削を開始するなど、石綿管を破損させない工夫が見られた。
- ・石綿含有管の撤去・運搬処理も作業内容を熟知した技能者配置により安全かつ適切な施工を行った。
- ・工事内容や進捗状況について広報等により地域住民に周知努力を行った。
- ・創意工夫及び地域貢献・人材育成を積極的に取り組む姿勢が見られた。
- ・出来形・品質・工程共に良好であり、現場の条件変更に対する対応も迅速かつ適正であった。

### ◆施工業者からのPR

- ・施工延長の増工に伴い、資材の調達準備期間を利用して重要区間の試掘を行ったことにより、埋設位置の相違に対しても早急に対処し、関連業者との迅速な対応で工事を完了させることが出来た。
- ・工事前の説明会において、地域住民が石綿管撤去作業に対して関心・心配されているかを実感し、工事進捗から撤去搬出完了を即座に広報活動したことが好感をもたれた。
- ・地域への貢献・創意工夫を会社一丸で取り組み、施工管理内容も精度向上に努め成果として表すことが出来た。

### 30 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	長倉沢地区 予防治山工事 RH1113A930		
路河川名/地区名	長倉沢地区	施工地名	東成瀬村椿川
商号又は名称	宮原組・佐々木組特定建設工事共同企業体		
請 負 額	79,391,880 円	工種・格付	法面 A級
代 表 者	株式会社宮原組 代表取締役 宮原 竜也		
許可番号	05-010808	監理技術者等	現場代理人 小西 満
(構 成 員)	株式会社佐々木組 代表取締役社長 佐々木 一勉		
(許可番号)	05-008289	(監理技術者等)	主任技術者 金沢 次夫
監督実施公所	雄勝地域振興局 (農林部)		
主任監督員	藤本 一広	監 督 員	武石 直久
工 期	平成29年6月5日～ 平成30年3月14日	完成年月日	平成29年10月24日
概 要	1) 山腹工 A=0.18ha 2) 吹付法面砕工 A=3,013.1m <sup>2</sup>		
特 徴	1) 急勾配・長大な法面で品質と作業安全性を確保 2) 工事中、地域住民との良好な関係を築き、円滑に工事を完成		
写 真			
			
着手前		完成	
フルハーネス型安全帯着用による安全対策			

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業員増員等により、積雪期前に工事を完成させたほか、地形の起伏に対応するため岩盤箇所には棚作製とソイルセメント吹付により法面を平坦化し、横梁中間部にはアンカーを打設してゆがみを防止するなど、きめ細やかな施工により、優れた品質と出来映えを確保した。</li> <li>・フルハーネス型安全帯について、作業員と意見交換会を行い安全意識の醸成を図るとともに、全員に着用させたほか、落下防止柵を設置するなど、安全対策を徹底した。</li> <li>・ゴミ集積所の塗装塗替えや村道の草刈りなど、地域への貢献を実施した。</li> </ul>

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> <li>・綿密な工程調整を行い、法面工を増員したほか、掘削・荷揚げ作業を可能な限り機械化して作業効率の向上と作業員への負荷軽減を図り、降雪前に工事を完成させた。</li> <li>・法面が長大かつ急勾配なため、全作業員にフルハーネス型安全帯を使用させて作業時の安定性と安全性を向上させた他、法面上に資材ストック用のステージを設けて、作業員の安全性を確保した。</li> <li>・別工事の都合により、使用予定の村道を一般車両の迂回路として共用することになったため、村道の狭隘な箇所に鉄板を敷き、待機所や交差部にカーブミラーを設置して事故防止に努めた。</li> </ul>

### 3 1 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

#### ◆工事概要

工 事 名	地方道路等整備工事（建設） 1781-10		
路河川名/地区名	国道398号	施工地名	湯沢市字下山谷
商号又は名称	株式会社高修興業	許可番号	05-004724
請 負 額	47,755,440 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 高橋 謙		
監理技術者等	現場代理人 大沢 真之		
監督実施公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任監督員	永澤 傑	監 督 員	高橋 勝喜
工 期	平成29年8月10日～ 平成30年3月23日	完成年月日	平成30年3月23日
概 要	1) L=120m W=6.0(13.5)m 2) 道路土工N=1式 3) 側溝工L=198m 4) 集水柵工N=12箇所 5) 下層路盤A=815m <sup>2</sup> 6) 上層路盤A=1,130m <sup>2</sup> 7) 表層A=1,120m <sup>2</sup>		
特 徴	1) 日交通量が1万台を超え、冬期施工を伴う現道拡幅・歩道整備工事 2) 低気温時にアスファルト合材の温度管理と現場養生に配慮した工事		

#### 写 真

完成(起点側)



完成(終点側)



#### ◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は日交通量が1万台を超える路線上の工事であること、施工が冬期間に移行するため実作業時間が減少すること、完全週休二日制モデル工事であることなど厳しい施工条件であったが、緻密な安全管理や工程管理を行い、工期内に完成することが出来た。
- ・アスファルト舗装は3月に実施したが、低温時におけるアスファルト合材運搬中の温度低下防止対策や乳剤散布・舗設時の既設構造物防汚対策が十分に実施され、出来栄が優れている。

#### ◆施工業者からのPR

- ・施工現場は日交通量が1万台を超える箇所であり、冬期に片側交互通行規制を実施しながらの施工であったため、安全管理には十分に配慮した。
- ・気温が低い時期のアスファルト舗装であったため、合材の温度管理や低温時でも接着力や分解能力に優れた乳剤を散布するなど、良質の舗装面に仕上げる努力をした。
- ・地元調整や行事参加、除雪補助等貢献活動を実施すると共に、週休二日達成の工程管理に努めた。

## 32 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	水産振興センター機械棟電気設備工事 2804		
路河川名/地区名	—	施工地名	男鹿市船川港台島
商号又は名称	本荘・松澤特定建設工事共同企業体		
請 負 額	95,233,320 円	工 種・格 付	電気 A級
代 表 者	本荘電気工業株式会社	代表取締役社長	塩谷 久樹
許可番号	00-000590	監理技術者等	現場代理人 加賀 計有
(構 成 員)	松澤電気工事株式会社	代表取締役	松澤 國彦
(許可番号)	05-001569	(監理技術者等)	主任技術者 神崎 貴俊
監督実施公所	営繕課 (建設部)		
主任監督員	渡邊 雅輝	監 督 員	浦田 研
工 期	平成28年7月20日～ 平成29年4月20日	完成年月日	平成29年4月20日
概 要	1) 機械棟 (RC造 平屋建 延べ面積180㎡) 他における電気設備工事 (受変電設備、自家発電設備、動力幹線設備、構内配電線路設備等)		
特 徴	1) 既存施設を使用しながらのため、受電切替に配慮を要した 2) 構内埋設電線路は既設埋設管もあり錯綜していたため、新設管は機械棟から各棟毎にまとめ敷設した		
写 真			
			
電気室	非常用発電機室	引込柱	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・工区内で同時期に施工している建築及び機械設備工事の他、水産関係者との調整を密に行い現場条件変更にも柔軟に対応している。</li> <li>・構内埋設電線路は通常、電圧種別毎にまとめるが、次期工事や今後のメンテナンス性に配慮し、行き先毎にまとめ敷設した。また、ハンドホール据付でダクト口処理について、より完全な止水を目的として製作工場に依頼し、現場での施工性を良くした結果、現場での施工時間の短縮に繋がった。</li> <li>・電気室ピットは当初、配管敷設としていたが、スペースを有効利用し次期工事の施工性を考慮し、ケーブルラックへ変更した。</li> </ul>

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気を供給する建物が多く、広範囲であった為、埋設配管の本数が多い工事だった。これに伴い掘削断面の種類も多く、下請け業者への掘削指示、写真管理、立会確認の際の難航が予想された。そこで、全断面の掘削から埋戻しまでの手順図を事前にラミネートで作成し、下請け業者への掘削指示の見える化、写真管理、立会確認の際の黒板記入時間の短縮を図った。</li> <li>・電気室盤メーター及び警報ランプ位置を定期巡回時、見易いように下げた。</li> </ul>



### 3 3 第39回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	水産振興センター生産棟建築工事 2901		
路河川名/地区名	—	施工地名	男鹿市船川港台島
商号又は名称	(株) 沢木組・(株) 清水組特定建設工事共同企業体		
請 負 額	341,734,680 円	工 種・格 付	建築一式 A級
代 表 者	株式会社沢木組 代表取締役 沢木 則明		
許可番号	05-005082	監理技術者等	現場代理人 松山 重光
(構 成 員)	株式会社清水組 代表取締役社長 清水 重輝		
(許可番号)	00-011421	(監理技術者等)	主任技術者 大木 剛
監督実施公所	営繕課 (建設部)		
主任監督員	鈴木 清施	監 督 員	菊地 克規
工 期	平成29年6月15日～ 平成30年3月30日	完成年月日	平成30年3月29日
概 要	1) 生産棟(鉄筋コンクリート造一部鉄骨造平屋建て 延べ面積996.24㎡) 2) 巡流水槽棟(鉄骨造平屋)・機械棟(鉄筋コンクリート造平屋)の解体		
特 徴	1) 敷地条件を踏まえ、工程管理と品質管理が必要 2) 敷地内に複数の既存施設と供用施設がある中の工事の為、十分な動線の配慮が必要		
写 真			
			
外観		内観	

#### ◆監督実施公所の推薦理由

- ・敷地内条件(出入口2ヶ所、作業スペースが狭い、海風の影響がある自然条件の厳しい敷地、魚種苗ローリング計画に基づいた事業工程等)を踏まえ、工事車両出入り口は1ヶ所に限定し施設利用者や来所者との別動線化、鉄筋資材は工場等での組立完了後に現場搬入とした現場内作業の短縮化、魚搬出と工事作業の動線が近接した際には日々施設管理者と打合調整をするなど、発注条件を踏まえ適切な施工作业を行い、施工品質も相応しい工事であった。

#### ◆施工業者からのPR

- ・工期が既存建物解体と建築工事を合わせて、実質9ヶ月と短く、工程管理は特に留意しなければならない工事だった。工期短縮を図るため、特に鉄筋の加工及び組立はできる限り工場等で行い現場へ搬入し効率化を図ったり、先行して塗装できる部材は、施設の未使用の建屋内や自社倉庫内で塗装作業など、現場作業の省力化(現場作業の軽減)を図った。
- ・結果、工期短縮につながり工程通りに作業を進めることができた。

秋田県優良工事表彰 選考委員会名簿

選考委員長	副	知	事	堀井 啓一
選考委員	総	務	部長	名越 一郎
〃	農	林	水産部長	齋藤 了
〃	建	設	部長	小川 智弘
〃	出	納	局長	鎌田 雅人

秋田県優良工事表彰 幹事会名簿

幹事長	建設部	建設技監	佐藤 和義
幹事	(秋田県入札制度適正化推進委員会技術専門部会)		
〃	部	会長	及川 洋
〃	専	門委員	後藤 文彦
〃	専	門委員	佐藤 悟
〃	専	門委員	浅野 耕一
〃	専	門委員	石山 智
〃	(秋田県知事部局関係課室)		
〃	農林水産部	参事(兼)農地整備課長	能見 智人
〃	水産	漁港課長	石井 公人
〃	森林	整備課長	櫻田 良弘
〃	建設	政策課長	千葉 雅也
〃	技術	管理課長	武藤 秀男
〃	道	路課長	佐藤 秀治
〃	河川	砂防課長	小野 久喜
〃	港湾	空港課長	菅原 純

# 秋田県優良工事表彰要綱

## (表彰の目的)

第1条 県が発注した工事のうち、優秀な工事を施工したものを表彰することにより、建設技術の向上を図ることを目的とする。

## (表彰の対象)

第2条 対象は、前年度に完成した工事とし、秋田県工事成績評定に基づき評価されたものとする。

## (表彰の名称)

第3条 名称は、「秋田県優良工事表彰」とする。

## (表彰の基準)

第4条 次のすべてを満足すること。

- (1) 当該工事の出来形が優秀であること。
- (2) 当該工事全般の管理状況が良好であること。
- (3) 当該企業において労働災害がないこと。
- (4) 当該企業における各工事の施工成績が良好であること。
- (5) 建設業法を遵守し、他の模範とされる施工企業であること。

## (推 薦)

第5条 各所属長は、表彰することが相当と認める工事があるときは、選考委員長へ推薦するものとする。

## (選考委員会)

第6条 表彰すべき工事を選考するため選考委員会を置き、その構成は、別表第1のとおりとする。

2 選考委員会は、次項の幹事会の調査報告に基づいて協議し、表彰すべき工事を決定するものとする。

3 選考委員会に幹事会を置き、その構成は別表第2のとおりとする。

4 幹事会は、各所属長より推薦のあった工事について、当該工事の調査を行い、その結果を選考委員会に報告するものとする。

## (表 彰)

第7条 表彰の種類は、優良工事表彰、特別表彰及び地域振興局長表彰とする。

2 被表彰者は、施工企業の代表者（共同企業体の場合にあっては、構成員のそれぞれの代表者）及びその工事を担当した監理技術者等とする。

## (事務局)

第8条 事務局は、技術管理課に置く。

## (補 則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

## 附 則

この要綱は、昭和55年5月1日から施行する。

平成10年3月27日一部改訂

平成12年4月1日一部改訂

平成16年4月1日一部改訂

平成18年4月1日一部改訂

平成19年4月1日一部改訂

平成20年4月1日一部改訂

平成21年6月1日一部改正

平成22年4月28日一部改正

平成23年4月25日一部改正

平成24年4月1日一部改正

平成28年2月9日一部改正

平成29年3月9日一部改正

平成30年3月16日一部改正

※上記要綱内の「別表第1」及び「別表第2」の構成員は、P39の名簿参照のこと

## 第4回 秋田県優良業務表彰 業務一覧表

### 測量業務部門

番号	委託業務名	路河川名 /地区名	業者名	代表者名	発注公所
1	大戸百崎地区 農地集積加速化基 盤整備業務委託 08001-Y03	大戸百崎地 区	株式会社国土測量設計	遠田 和夫	秋田地域振興局
2	用地測量業務委託 27-I107-YK	大曲大森羽 後線	奥山ボーリング株式会社	奥山 信吾	平鹿地域振興局
3	地形測量業務委託 L803-Y3	焼間沢	柴田工事調査株式会社	柴田 昌英	雄勝地域振興局

### 地質調査業務部門

番号	委託業務名	路河川名 /地区名	業者名	代表者名	発注公所
1	八郎潟1期地区 基幹水利施設ス トックマネジメント業務委託 03202-Y02	八郎潟1期 地区	株式会社ウヌマ地域総研	鵜沼 順之	秋田地域振興局
2	八郎潟2期地区 基幹水利施設ス トックマネジメント業務委託 03601-Y02	八郎潟2期 地区	小川測量設計株式会社	鈴木 好和	秋田地域振興局
3	貯水池斜面地すべり調査観測解 析業務委託 28-NG22-Y3	砂子沢川 (砂子沢ダ ム)	奥山ボーリング株式会社	奥山 信吾	鹿角地域振興局

### 調査点検等業務部門

番号	委託業務名	路河川名 /地区名	業者名	代表者名	発注公所
1	佐戸沢ほか地区 予防治山業務委託 RD1113B111	佐戸沢ほか 地区	一般社団法人秋田県林 業コンサルタント	小川 正	秋田地域振興局
2	基礎調査業務委託 LP80-Y2	雄勝地域振 興局管内	柴田工事調査株式会社	柴田 昌英	雄勝地域振興局

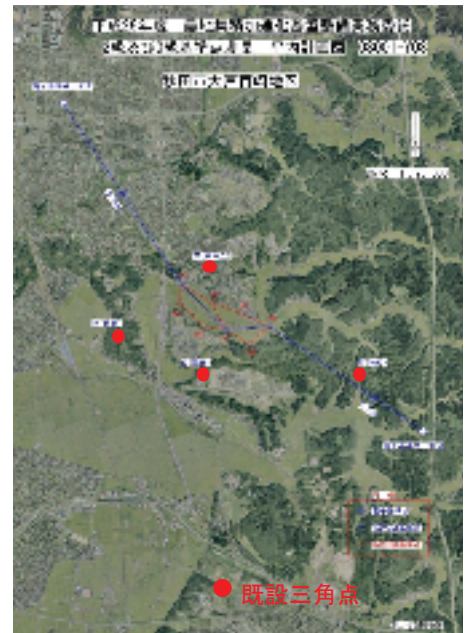
### 土木設計業務部門

番号	委託業務名	路河川名 /地区名	業者名	代表者名	発注公所
1	大栗沢堰地区 ため池等整備(河 川対応)業務委託 01401-Y02	大栗沢堰	株式会社ウヌマ地域総研	鵜沼 順之	由利地域振興局
2	井戸尻台地区 森林学習交流館機 能強化業務委託 RD1909B011	井戸尻台地 区	一般社団法人秋田県林 業コンサルタント	小川 正	秋田地域振興局
3	設計業務委託 29SA8002-Y4	国道105号	株式会社創研コンサル タント	田森 宏	北秋田地域振興局
4	貯水池斜面地すべり対策修正設 計業務委託 28-NG22-Y4	砂子沢川 (砂子沢ダ ム)	奥山ボーリング株式会社	奥山 信吾	鹿角地域振興局
5	河川災測量設計業務委託 29-8004-Ya	富津内川 外	株式会社石川技研コンサル タント	井上 秀次郎	秋田地域振興局

測量業務部門 1 第 4 回 秋田県優良業務表彰 受賞業務

◆業務概要			
委託名	大戸百崎地区 農地集積加速化基盤整備業務委託 08001-Y03		
地区名	大戸百崎地区		
商号又は名称	株式会社国土測量設計		
請負額	9,887,400 円	種別	測量業務
代表者	代表取締役 遠田 和夫		
管理技術者	佐々木 孝義		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任調査員	大門 晃	調査員	穴倉 利裕
工期	平成29年10月6日～ 平成29年3月23日	完成年月日	平成29年3月23日
概要	1) 整備区域境界測量 A=5.3ha		

◆受注者の声	
1 業務の特徴	本業務は、農地集積加速化基盤整備事業（ほ場整備事業）大戸百崎地区における区画整理工事の実施範囲を示す境界を、昭和20年代後半頃に区画整理された際の換地図（公図）と隣接する市道、大戸川、民有地の公図との整合を図り、現地において確定させる測量業務である。
2 業務遂行上の課題	業務にあたり、地区界を囲む3級基準点8点を設置する必要があるが、現地の既知点（三角点）を利用する場合、図に示すとおり北側は住宅地内、他の3点は山林内あり、土地の立ち入り及び木々の伐採等について可を地権者の同意が必要になるほか、山林内の観測については、アンテナ高を高測（10m程度）にする必要があると考えられ、基準点設置作業が困難であった。
3 上記課題の対応及び結果	平成28年3月31日の作業規定の準則の一部改正により「電子基準点のみを既知点とした2級基準点測量」の適用が規定されたことから、電子基準点（天王、河辺）から2級基準点新点3点を設置し、その3点をもとに3級基準点を5点設置した。 本作業により、基準点設置作業として1週間程度の短縮となったほか、その後の作業をしやすい場所に基準点を設置できたことにより、補助点の選点等の効率化と作業の軽減が図られた。



◆発注公所の所見	
本業務は、ほ場整備の整備区域を確定する境界測量であるが、目的、現場条件を十分理解した上で業務を実施した。稲の刈り取りが終わってから降雪期前までに極力現地調査、境界杭の設置、地権者の現地確認等の作業を行う必要がある中、工期の短縮と作業の効率化を図るため、電子基準点からの基準点設置を提案するなど課題に対して積極的な対応がなされたことは高く評価できる。	

◆業務概要			
委託名	用地測量業務委託 27-I107-YK		
地区名	大曲大森羽後線		
商号又は名称	奥山ボーリング株式会社		
請負額	6,565,320円	種別	測量業務
代表者	代表取締役 奥山 信吾		
管理技術者	小田嶋 良幸		
発注公所	平鹿地域振興局（建設部）		
主任調査員	吉田 正吾	調査員	久米 真孝
工期	平成28年9月2日～ 平成29年6月30日	完成年月日	平成29年6月30日
概要	1) 用地幅杭設置測量 L=0.42km 2) 用地測量 A=11,300m <sup>2</sup> 3) 用地境界仮杭設置・土地調書作成 A=2,200m <sup>2</sup>		

◆受注者の声	
<p><b>【業務の特徴・課題】</b>                      本業務は県道36号大曲大森羽後線の道路整備区間を対象に用地測量を実施したものである。対象区間の道路は急勾配で狭いため視認性に劣り特に冬期間は路面凍結に伴うスリップ事故が発生し易い路線である。このため地元や道路利用者からの要望を受け道路設計までは完了している状態であった。                      しかし、測量区間に位置する市の温泉施設が平成29年度中に民間譲渡される計画となったため、その前に関連する区間の早急な用地取得が必要となった。                      また当該区間には所有者の所在が不明な共有地が存在していたことから、工事を含めた事業の継続のため管理者を速やかに特定する必要があった。</p> <p><b>【課題解決に向けて工夫した点・苦労した点】</b>                      上記の課題解決に向けての対応として、本業務の遂行体制を見直し、再構築を行った。まず、現地の測量班を増員すると共に、この他に調査班を編成して関係機関への聞き取りを並行して行うものとし、全体の作業を迅速に進める事で工期を厳守した。                      また、用地説明に際しては、空中写真に公図や幅杭位置を重ねた説明図を作成し用地を判り易く表現することで、地権者との合意形成や発注者との情報共有が円滑となるよう努めた。</p>	

◆発注公所の所見	
<p>当工区は所有者不明共有地の存在により、用地測量完了までの工程に数度の見直しが必要となったが、技術者の増員などにより事業全体スケジュールに大幅な修正を加えることなく精度の高い成果を得ることができた。                      また、航空写真と公図のレイヤ図を作成することで状況把握が容易となり、関係者への説明や関係機関との協議がスムーズに実施できた。</p>	

◆業務概要			
委託名	地形測量業務委託 L803-Y3		
地区名	焼間沢		
商号又は名称	柴田工事調査株式会社		
請負額	4,322,160円	種別	測量業務
代表者	代表取締役 柴田 昌英		
管理技術者	石川 和夫		
発注公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任調査員	眞坂 貢	調査員	高橋 弘樹
工期	平成29年6月19日～ 平成29年10月31日	完成年月日	平成29年10月31日
概要	1) 2級基準点測量 2点 2) 4級基準点測量 22点 3) 地形測量 0.039km <sup>2</sup> 4) 路線測量 0.3km		

◆受注者の声

本業務は、砂防河川 焼間沢において、砂防整備計画のための基準点測量、地形測量並びに路線測量を行うにあたり、以下の点に留意した。

1、業務の特徴

- 測量成果の使用及び公共測量実施計画の作成について、指導・助言を求めた上で作業の実施・成果検定を行った。
- 既知点は山林内に位置している従来の三角点に替え、電子基準点を既知点として使用することで三角点の現況調査や視通の確保による伐採・承諾を省略し、作業効率の向上を図った。  
電子基準点を使用することで、精度向上、利便性及び保存性を考慮し基準点の配置計画を選点し承諾申請の短縮を図った。

2、業務遂行上での工夫点

- 工事等の後続作業を考慮し、4級基準点杭は、木杭ではなく長期保存を目的とした合成樹脂杭を使用した。
- 急傾斜など人的作業が困難と判断した箇所の対応としてトータルステーションノンプリズム型測量機器で計測し、事故防止に努め作業の効率化を図った。

◆発注公所の所見

業務着手前の踏査において、約17年前に他社が実施した、電子データの存在しない同地区の平面図と詳細な照合を独自に実施し、県道より下流域について地形・建物・代表端点にほぼ変化がなく、軽微な補正により作図可能との提案を受け、公共事業の経費削減に大きく貢献した。  
4級基準点杭を独自に樹脂杭にするなど、その後の諸計画策定並びに今後の工事の精度を高めることが期待できる企業努力が見られた。

◆業務概要			
委託名	八郎潟 1 期地区 基幹水利施設ストックマネジメント業務委託 03202-Y02		
地区名	八郎潟 1 期地区		
商号又は名称	株式会社ウヌマ地域総研		
請負額	2,990,520 円	種別	地質・土質調査業務
代表者	代表取締役 鵜沼 順之		
管理技術者	渡邊 保宣		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任調査員	保坂 学	調査員	今西 洋平
工期	平成29年6月23日～ 平成29年8月31日	完成年月日	平成29年8月31日
概要	1) 一般調査業務 N=1 式（ボーリング等 L=25m×1 孔=25m） 2) 解析等調査業務 N=1 式		

◆受注者の声	
1. 業務の特徴	本業務は、既存高架水槽の老朽化に伴って更新するための設計資料として利用するため、構造物支持層の確認、軟弱地盤の物理的・力学的強度の把握、構造物基礎地盤の液状化判定のための資料収集、地下水位の確認等の多岐にわたる地質調査を行ったものである。
2. 業務遂行上の課題	<p>①調査内容が多岐にわたることが想定されたため、打合せは管理技術者も随時対応する必要があるものと判断した。</p> <p>②農繁期中の現場作業のため、地元説明含めて土地改良区とコミュニケーションをとる必要があった。</p> <p>③出現した土質状況によって随時調査内容が変わっていくため、発注者と設計担当者へ毎日現況報告を行い、情報を共有する必要があった。</p> <p>④四方をネットフェンスに囲まれた限られた範囲内での作業のため、けがや事故等を起こさないための作業スペースになるような工夫が必要と判断された。</p>
3. 課題の解決に向けて工夫したこと	<p>①打合せ終了後に打合せ記録簿を作成し、発注者・設計者・管理技術者とともに協議内容を共有した。</p> <p>②実施設計業務の遂行上、1ヶ月程度ですべてのデータを提出する必要があったため、パイロット調査孔の進捗とともに調査・試験内容について随時打合せや提案を繰り返し行い、作業工程を大きく短縮した。</p> <p>③業務の内容に比べて作業期間が短縮されたため、調査不足による成果品の品質低下リスクを低減するため、当社における ISO9001 を利用して品質管理を徹底した。また作業時の安全管理として、社内安全管理室による安全パトロールを実施し、作業員への安全周知を図った。</p>




◆発注公所の所見	
自然条件や業務目的遂行のための事前対策など業務目的を十分理解した対応は高く評価できるものである。	



地質調査業務部門2 第4回 秋田県優良業務表彰 受賞業務

◆業務概要			
委託名	八郎潟2期地区 基幹水利施設ストックマネジメント業務委託 03601-Y02		
地区名	八郎潟2期地区		
商号又は名称	小川測量設計株式会社		
請負額	3,113,640円	種別	地質・土質調査業務
代表者	代表取締役 鈴木 好和		
管理技術者	伊藤 昇		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任調査員	保坂 学	調査員	今西 洋平
工期	平成29年6月23日～ 平成29年8月31日	完成年月日	平成29年8月31日
概要	1) 一般調査業務N=1式（ボーリング等L=25m×1孔=25m） 2) 解析等調査業務N=1式		

◆受注者の声	
<p>本業務は、基幹水利施設ストックマネジメント事業八郎潟2期地区で更新される川口高架水槽の工事施工に資するための地質調査を行ったものである。</p> <p>調査の主目的は、既存高架水槽の耐震対策及び老朽化対策工事の設計時における地盤条件の設定及び液状化検討を行うものである。業務の実施にあたっては、以下の点に留意した。</p> <p>1、業務実施の取り組み 設計業務との並行作業であるため、関係者（調査職員、設計業者）に、当日のボーリング仮柱状図と翌日の作業予定を記載した資料を電子メールで送信し、情報の共有化を図った。さらに調査結果を図表にまとめ、今後の作業方針が円滑に進むように関係者に速報値として報告を行った。</p> <p>2、取りまとめ時の取り組み ・調査結果の取りまとめにあたっては、出来るだけ図表を多くし色彩に配慮して分かりやすい内容となるように努めた。 ・総合解析とりまとめ時には、地震時の液状化対象土層の判定以外に自主的に耐震設計上の地盤種別と地震時の液状化判定を行い、設計業務に反映することが出来るようプロモーションに努めた。</p> <p>3、品質確保 業務の主要な区切や成果品の内容については、社内のISO9001システムに基づき社内照査を実施して品質確保を図った。</p>	 <p>写真-1 ボーリング状況</p>

◆発注公所の所見	
<p>作業手順の確認や情報共有など作業の効率化に努め、加えて解析作業においては自主的に液状化判定業務を加味するなど、業務目的を理解したより高い精度を求めた実績は高く評価できるものである。</p>	

◆業務概要			
委託名	貯水池斜面地すべり調査観測解析業務委託 28-NG22-Y3		
地区名	砂子沢川（砂子沢ダム）		
商号又は名称	奥山ボーリング株式会社		
請負額	23,581,800円	種別	地質・土質調査業務
代表者	代表取締役 奥山 信吾		
管理技術者	栗山 大助		
発注公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任調査員	北林 了以	調査員	三浦 俊明
工期	平成29年3月17日～ 平成30年3月23日	完成年月日	平成30年3月23日
概要	1) 地すべり調査 孔内傾斜計・地中伸縮計観測 N = 1 式 2) 自動観測システム（12箇月継続観測） N = 1 式 3) 定点観測 N = 1 式 4) 解析等調査 N = 1 式		

◆受注者の声

**業務の特徴・課題**  
 当地すべりは、ダム湛水後に最大10mm以上/日で活発に変動していた貯水池地すべりである。地すべりが崩壊した場合には、段波がダムサイトを直撃し、越流により下流域へ被害を及ぼすことが懸念された。現在は、地下水排除工が完了し、貯水位を最低水位で運用することで地すべり変動が沈静化しているものの、ダム機能の回復のための恒久対策である排土工を進める必要があった。また、排土工を進める中でも確実な地すべり変動の監視が求められ、以下の課題があげられた。

- ①崩壊時に多大な影響を及ぼす貯水池地すべりの監視体制の構築
- ②排土工を進めながらの地すべり変動の継続監視

**課題解決に向けて工夫した点・苦労した点**

- ①の対応としては、地すべりの重要度を考慮し、地すべり変動をリアルタイムで監視することが可能な自動観測システムを導入した。また、警戒避難体制を整備し、管理基準値超過時には関係者へのメール配信や下流に設置した赤色回転灯を作動させ下流域住民に周知するシステムを導入した。
- ②の対応としては、自動観測システムのケーブルが排土工事に支障になることを考慮し、場内の地すべり観測孔を無線化することで継続監視を可能とした。

地すべり頭部排土状況(ダム湖側より撮影)

無線アンテナ→

地すべり観測孔の無線化

◆発注公所の所見

本業務は砂子沢ダム貯水池で発生している地すべりの観測・監視等を行うものである。観測箇所では排土工も行っていることから、施工業者と綿密な調整により観測及び工事に影響のないよう進められた。また、厳寒期など現場条件が厳しい状況のなか、観測が正常に行われるよう対応がなされた。協議等に必要な資料においては目的に沿った内容となっており、わかりやすい内容であった。

調査点検等業務部門 1 第 4 回 秋田県優良業務表彰 受賞業務

◆業務概要			
委託名	佐戸沢ほか地区 予防治山業務委託 RD1113B111		
地区名	佐戸沢ほか地区		
商号又は名称	一般社団法人秋田県林業コンサルタント		
請負額	16,380,360 円	種別	単純調査等業務
代表者	理事長 小川 正		
管理技術者	前川 峰志		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任調査員	小野 圭	調査員	近藤 智也
工期	平成29年9月8日～ 平成30年3月23日	完成年月日	平成30年3月23日
概要	1) 山地災害危険地区調査 N=969箇所		

◆受注者の声	
1. 業務の内容	<p>山地災害危険地区調査は、山腹崩壊、地すべり及び崩壊土砂流出等による災害が発生するおそれがある地区を調査してその実態を把握し、これらの災害の未然防止に資することを目的としている（→図1参照）。本調査は、前回平成19年度危険地調査から10年経過し人家の増減が生じたこと、近年の局所的な豪雨への対応が必要であること、また新たな知見のもと危険度点数表の見直しが行なわれたことから実施した。業務手順としては、過去の危険地区を調査対象地とし、新たな新規箇所も加え秋田地域振興局管轄の3市3町内969箇所の保全対象調査、山腹溪流危険度の算定その結果を踏まえ地区の危険度判定A, B, C, 危険地非該当の見直しを行った。その結果調査地969箇所のうち830箇所が危険度及び保全対象より危険地区と判断された。</p>
2. 業務実施上の工夫及び留意点	<p>前回平成19年度危険地調査における被害想定区域は、住宅地図等で保全対象を決定していたため、地形図上に表れない危険地流末と保全区域の比高差や溪流幅、土砂の流出状況などの把握が困難であった。そのため、本業務においては被害想定区域の現地調査を全区域で行い、下記に示すような点に留意し危険度判定を行なった。</p> <p>○溪流の被害想定は、難しい判断を必要とするため、地区の沢の出口を確認し、沢や河川の深さと人家との位置関係を把握した上で適正な被害範囲を設定した。</p> <p>○調査時期は、秋田県内で大きな被害が生じたH29年7月の秋田豪雨の後であり、地区内の山腹崩壊や土砂流出の状況を確認でき、被害想定判断材料とした。</p> <p>○危険地区の中にはため池が多くあり、土砂災害時に堤防が破堤した場合、下流域への影響は大きいことから重視した。</p> <p>○高齢化社会により、老人介護施設等が新たに建築された場所や増築された箇所が複数あり、災害時の要支援者施設でありその被災の可能性について十分に検討を行なった。</p>

◆発注公所の所見	
<p>本業務は、秋田地域振興局管内に存する「山地災害危険地区」の状況を調査し、新基準に基づく危険度判定と、新たな危険地区の有無を調査するものである。対象範囲が3市3町の民有林60,898haで、箇所数は969箇所と、調査に多大な労力を要する業務であった。提出された業務成果品の内容は優れており、特に調査結果をデータベース化したことは、発注者が業務を効率的に行える点を含め、特に評価に値するものである。</p>	

調査点検等業務部門2 第4回 秋田県優良業務表彰 受賞業務

◆業務概要			
委託名	基礎調査業務委託 LP80-Y2		
地区名	雄勝地域振興局管内		
商号又は名称	柴田工事調査株式会社		
請負額	19,287,720円	種別	単純調査等業務
代表者	代表取締役 柴田 昌英		
管理技術者	細川 博美		
発注公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任調査員	眞坂 貢	調査員	角上 吉則
工期	平成29年6月26日～ 平成30年3月23日	完成年月日	平成30年3月22日
概要	1) 基礎調査（急傾斜地） 16箇所 2) 基礎調査（土石流） 36箇所		

◆受注者の声

**1. 業務の特徴**

本業務は、雄勝郡羽後町上到米地区における土砂災害防止法に基づく基礎調査業務である。現地立ち入り前に机上調査を行い、危険区域の仮設定を行う。その後、現地調査で地形、植生、地質等を把握し、危険区域をどのように設定していくかが重要であった。

また、地元説明会のために、地域住民に配慮した分かりやすい資料作成の必要性があった。

**3. その他工夫点**

- ・土石流の基準地点については、設定位置により保全家屋数が異なる場合が生じることから、谷出口・河道屈曲性・社会的条件等を慎重に考慮するため、他の地区の過年度業務成果を参考に区域を設定した。
- ・地元説明会が他の地区と合同で開催することとなったため、他の地区を受注した同業他社と連絡を取り、地域住民が分かりやすいように、整合性のとれた資料作成を行った。

**2. 業務遂行上の課題解決フローチャート**

<3つの課題>

地形の把握

工程管理

分かりやすい資料の作成  
住民への周知徹底

<実施事項>

・人家にかかる危険範囲に対して、地形の再確認の実施

・複数班体制による現地調査の実施

・設定した危険箇所の拡大図面を作成し、各行政地区の代表者に配布した。

危険範囲について、綿密な調査を実施した。

7月22日の災害対応のため、現地立ち入りで一か月程度の遅延が生じ、降雪前まで現場作業を完了させるための対策を講じる必要が生じた。

住民が見やすい資料作成を心掛けた。

◆発注公所の所見

現地での測量においてレーザー計測器を使用することで、作業の効率化と精度の向上を図っている。

地元住民に対し資料を提示しながら事前説明を十分に行っており、本業務に対する地元住民の理解と協力を得ることが出来たため、順調に事業を進めることが出来た。

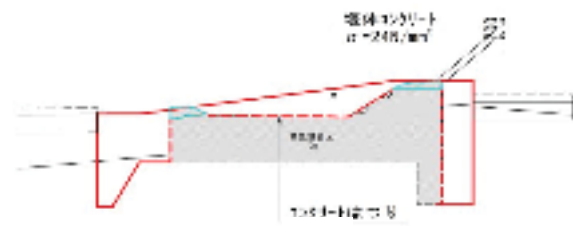
土木設計業務部門 1 第 4 回 秋田県優良業務表彰 受賞業務

◆業務概要			
委託名	大栗沢堰地区 ため池等整備（河川対応）業務委託 01401-Y02		
地区名	大栗沢堰		
商号又は名称	株式会社ウヌマ地域総研		
請負額	24,082,920 円	種別	詳細設計
代表者	代表取締役 鵜沼 順之		
管理技術者	佐藤 俊之		
発注公所	由利地域振興局（農林部）		
主任調査員	茂内 博哉	調査員	齊藤 幸悦
工期	平成29年8月25日～ 平成30年3月16日	完成年月日	平成30年3月16日
概要	1) 頭首工実施設計 N=1箇所		


◆受注者の声

**【業務の特徴】**  
 本頭首工は、農業用取水堰として、昭和40年代に災害復旧事業により現在の固定堰が造成されたものである。その後、経年劣化等により堰工の破損や魚道の破損など機能低下が生じているとともに、洪水時には堰決壊の危険性を有していた。  
 そこで、本業務は農業用河川工作物の応急対策として頭首工の改修に向けた実施設計である。農業用取水機能と河床の安定機能、魚種の遡上機能等を有する頭首工の改修であることから、農業分野に加え、河川分野の土木技術等の総合的な技術を必要とする業務であった。

**【工夫した点】**  
 改修にあたっては既設頭首工の躯体を活かす工夫として、緩傾斜型による形式を採用した。さらに堰工の破損要因となる基礎部の吸出しに対し、基礎地盤のゆるい範囲を特定し、ゆるい砂礫部を置換コンクリートにより基礎処理を行い、今後の再発防止の工夫を行ったものである。



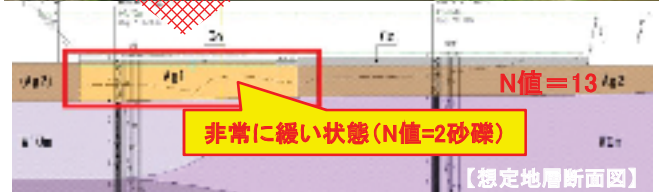
【既存施設を生かす改修断面イメージ】



エプロンと魚道の破損

堰破損と吸出しの相互影響が生じている

【現況垂直写真(ドローン撮)】



非常に緩い状態(N値=2砂礫)

N値=13 1/2

【想定地層断面図】

◆発注公所の所見

本業務は、頭首工を改修するための設計業務である。本地区の頭首工は、一級河川子吉川水系 笹子川に設置されている農業用施設であるが、河川構造物としての視点も必要となることから、安定上、構造上、施工上の検討を総合的に行う高度な知識・技術力が必要であった。  
 推薦者は、現状を詳細に把握し、施工条件、地区事情、施工後の状況等も考慮に入れた上で設計し、かつ施工計画を立案し、わかりやすく報告書に取りまとめている。

土木設計業務部門2 第4回 秋田県優良業務表彰 受賞業務

◆業務概要			
委託名	井戸尻台地区 森林学習交流館機能強化業務委託 RD1909B011		
地区名	井戸尻台地区		
商号又は名称	一般社団法人秋田県林業コンサルタント		
請負額	9,155,160円	種別	詳細設計
代表者	理事長 小川 正		
管理技術者	藤嶋 重則		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任調査員	小野 圭	調査員	近藤 智也
工期	平成29年5月19日～ 平成29年11月13日	完成年月日	平成29年11月10日
概要	1) 森林整備設計（山地） 2) 計画作成等業務N＝1式 3) 設計業務N＝1式 4) 測量業務N＝1式		

◆受注者の声	
1. 業務の内容	<p>業務対象地は、秋田市河辺戸島字井戸尻台地内にある森林学習交流館プラザクリプトン及び背後に広がる学習交流の森である。プラザクリプトンは、近傍に林業大学校や運動公園、国際教養大学等が位置し、多くの人々が交流する場となっている。森林学習交流館機能強化業務は、将来の林業を支える人材を育成・確保するため、林業を志す青少年の意識醸成を目的に、森林学習交流館プラザクリプトン及び背後に広がる学習交流の森において、林業体験型学習の導入や附属施設整備を行い、一体的な人材育成拠点として機能強化を目指す業務である。具体的には、学習交流の森の森林整備として、下刈りやスギ、マツ、広葉樹の本数調整伐等の保育作業を11.69haで計画した。また、遊歩道については丸太階段工や木道階段工、歩道橋(2箇所)などの整備を行い、森林学習交流館の中庭にはウッドデッキや東屋などを計画した。</p>
2. 業務実施上の工夫及び留意点	<p>○安全で通行性能の高い遊歩道の立案                      遊歩道の測量範囲は、地形把握を目的とし構造物がない箇所も含め全路線を測量し、要対策箇所の把握に努めた。丸太階段工等の配置にあたっては、現地形を反映し歩行者の利用に無理のない線形となるように配慮するとともに、自然な景観となるように努めた。また、階段の蹴上げ高が一定となるように、斜面勾配により3種類の階段構造を採用した。さらに、歩行が困難となる湿地帯にはスリップ止め加工を施した木道階段工を配置計画した。</p> <p>○新たな技術の導入                      老朽化して機能の低下した歩道橋(2箇所：橋長3mと4m)の機能強化にあたり、秋田スギを有効活用可能な最新技術であるCLT(直交集成板)歩道橋を提案した。CLTを利用した歩道橋としては秋田県内で初めての取組みとなる。CLT歩道橋の特徴は、床版の幅2m・厚さ120mmでありながら、利用に十分な強度を有するとともに軽量なため、一般的なトラックで現地までの運搬が可能な点である。なお、利用による劣化度の高い踏面については、交換可能な3層3プライのCLT(36mm厚)を使用し、床版には防腐処理が施された5層5プライのCLT(120mm厚)を使用している。</p>

◆発注公所の所見	
<p>本業務は、森林学習交流館の機能強化と、その周辺の県有林内で林業体験型学習を行うために必要な施設整備及び森林整備を設計するものである。対象範囲が16.89haと広大で、林内の下層植生は笹類が密生している箇所が多数あり、周囲には頻りにクマが出没するなど、厳しい条件下での業務である。提出された業務成果品の内容は全体的に優れており、特にCLT歩道橋の設計については、特に評価に値するものである。</p>	

◆業務概要			
委託名	設計業務委託 29SA8002-Y4		
地区名	国道105号		
商号又は名称	株式会社創研コンサルタント		
請負額	16,592,040円	種別	詳細設計
代表者	代表取締役 田森 宏		
管理技術者	鎌田 典共		
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任調査員	小林 勇	調査員	船木 孝仁
工期	平成29年8月10日～ 平成29年11月27日	完成年月日	平成29年11月27日
概要	1) 道路覆工構造物設計 ロックシェッド（復元設計）1式 2) 一般構造物基礎工詳細設計 深礎杭（復元設計）1式 3) 一般構造物予備設計 擁壁・補強土1式 4) 一般構造物基礎工詳細設計 杭長測定（非破壊試験）1式		

◆受注者の声

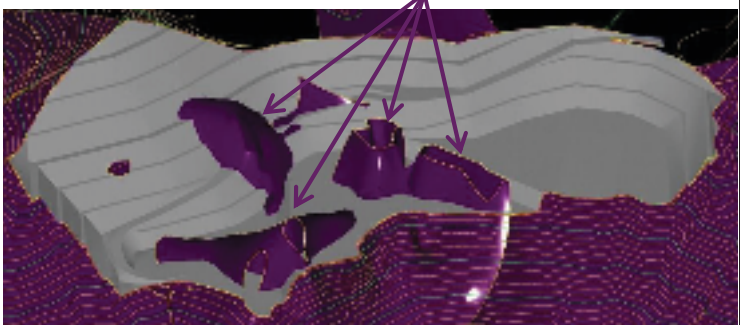
- 業務の特徴  
本業務は、平成29年7月22, 23日の豪雨により被災した国道105号比立内ロックシェッドの斜面崩壊箇所の災害対応業務である。
- 業務遂行上の留意点（課題）
  - ①安全・迅速・正確な調査
  - ②現地状況を十分反映した確実性の高い詳細設計
  - ③手戻りの無い業務遂行
- 課題解決に向けて気を付けた点・工夫した点
  - ①本被災の状況から深礎杭の健全度、長さの把握が重要であったことから、PIT試験（深礎杭の健全度、杭長探査）を行い、深礎杭の状況を把握した。
  - ②シェッドの上部工本体がある状態での施工であること。また、崩壊した斜面が急峻であるため仮設規模を小さくするために擁壁タイプではなく、斜面崩壊に対しては法枠工、深礎杭はグランドアンカーで対応することにより、仮設規模を極力縮小した。
  - ③社内で災害対応体制を確立して、完全分業制で行い、設計レビューを繰り返し実施しました。関連機関との連絡を密に行い業務を実施した。

◆発注公所の所見

対策工の設計にあたっては、昭和57年完成の既設シェッドの復元設計、被災状態の安定度照査が必要となる検討内容も多く難易度の高い業務であり、また、災害査定の関係で1ヶ月で成果が必要な厳しいスケジュールの業務であったにもかかわらず、的確に成果をとりまとめた。

対策工についても、早期復旧が可能で、現地条件を十分に反映した対策工法が提案されたことで、冬期前までに災害復旧工事を完成することができた。

◆業務概要			
委託名	貯水池斜面地すべり対策修正設計業務委託 28-NG22-Y4		
地区名	砂子沢川（砂子沢ダム）		
商号又は名称	奥山ボーリング株式会社		
請負額	4,606,200 円	種別	詳細設計
代表者	代表取締役 奥山 信吾		
管理技術者	佐藤 直行		
発注公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任調査員	北林 了以	調査員	三浦 俊明
工期	平成29年3月24日～ 平成30年3月23日	完成年月日	平成30年3月23日
概要	1) 排土工修正設計 N = 1 式 2) 排土処理地修正設計 1 式 3) 林地開発協議資料作成（変更協議） 1 式		

◆受注者の声	
<b>業務の特徴・課題</b>	
<p>当地すべりは、地下水排除工と最低水位での貯水位運用により地すべり変動が抑制されていたが、計画安全率を満足することができず、恒久対策である排土工を早急に進める必要があった。また、土木研究所の助言に基づく排土修正計画とした場合、排土量の増加により予定していた排土処理地の容量不足が懸念された。このほか、発生土の一部には、硬質で掘削が容易でない安山岩類があり、脈状の複雑な分布状態にあることが想定され、以下のような課題があげられた。</p> <p>①排土量を極力抑えた3次元的最小限の排土計画形状への修正                      ②脈状に分布する硬質岩盤である安山岩類の発生量の推定</p>	
<b>課題解決に向けて工夫した点・苦労した点</b>	
<p>①の対応としては、地すべりブロックと当初排土形状の3次元モデルを構築し、過剰な排土形状となっている部分を立体的に把握し、修正後の排土基面高に基づく3次元モデルで地すべりブロックを取り切れる最小限の排土形状とした。</p>	
<p>その結果、排土量は当初の5万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>程度の増加に留まり、現在の排土処理地で受け入れ可能であることが確認された。</p>	
<p>②の対応としては、調査ボーリング結果や集水ボーリングの施工情報など既往の地質データを再整理し、3次元の地質モデルを構築することで、複雑に分布する安山岩類の発生量をより精度良く推定することができ、施工時の有効な地質情報を得ることができた。</p>	
	
<p style="text-align: center;"><b>排土計画と要対策土(安山岩類)分布の3次元モデル</b></p>	

◆発注公所の所見	
<p>当業務は地すべり対策工として310,000m<sup>3</sup>の頭部排土を行う修正設計である。排土処理地の容量が決まっているなか排土量を増やさなければならず、排土量を極力抑えるため3次元モデルを使用することにより、排土量を抑えた計画とすることができた。</p> <p>また、国有林管理者や地元自治会との調整のため工程に制約があったが、遅れることなく対応することができ、また、調整用に作成された資料もわかりやすいものであった。</p>	



◆業務概要			
委託名	河川災測量設計業務委託 29-8004-Ya		
地区名	富津内川 外		
商号又は名称	株式会社石川技研コンサルタント		
請負額	62,949,960 円	種別	詳細設計
代表者	代表取締役 井上 秀次郎		
管理技術者	藤本 洋哲		
発注公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任調査員	小玉 大史	調査員	鈴木 友樹
工期	平成29年7月27日～ 平成30年3月12日	完成年月日	平成30年3月9日
概要	1) 現地測量 154,756m <sup>2</sup> 2) 路線測量 3.87km 3) 護岸詳細設計 28箇所 4) 災害査定資料作成 1式		

◆受注者の声	
<p><b>【業務の特徴】</b>                      本業務では、平成29年7月16～17日の梅雨前線豪雨および7月22～24日、8月24～25日の梅雨前線豪雨により被災した河川の災害復旧事業に必要な測量、護岸詳細設計、災害査定用資料等を作成した。7月16～17日の豪雨後、直ちに作業工程を計画し測量作業に入ったが、1週間後、さらに1ヶ月後に集中豪雨が発生し、作業途中で増破による復旧範囲の変更、見直しを余儀なくされた。最終的な災害査定申請箇所は28箇所となったが、中には増破や新たな被災により1箇所あたりの被災延長が227mに及ぶ箇所もあった。</p> <p><b>【苦労した点】</b>                      最初の豪雨後、更に2回の豪雨が発生したため、河川の水位が下がらず最深河床、護岸基礎洗掘調査が進まず作業工程に遅延が生じた。特に、被災箇所が頭首工の上流部にある箇所では水位が高く作業員の安全対策に配慮しつつ作業を進めた。                      度重なる豪雨で増破した箇所では、起終点が変更になるなど作業の手戻りも発生したが、発注者との連絡協議を密に行い、短い作業スケジュールのなか災害査定までに申請資料を取りまとめた。</p>	
<p>既設護岸の被災状況</p> 	<p>土羽部の被災状況</p> 

◆発注公所の所見	
<p>本業務は、平成29年7、8月の記録的豪雨に伴う出水により被災した富津内川ほか3河川、計28箇所の被災箇所測量、護岸詳細設計、災害査定申請資料作成を行う業務である。業務箇所の点におよび度重なる豪雨に伴う増破で手戻りを余儀なくされる箇所が生じるなど、厳しい時間的制約の中、受注者は密に工程を管理しフォローアップした結果、査定申請まで資料を整えることができた。</p>	

秋田県優良業務表彰 選考委員会名簿

選考委員長	副	知	事	堀井 啓一
選考委員	総	務	部長	名越 一郎
〃	農	林	水産部長	齋藤 了
〃	建	設	部長	小川 智弘
〃	出	納	局長	鎌田 雅人

秋田県優良業務表彰 幹事会名簿

幹事長	建設部	建設技	監	佐藤 和義
幹事	農地	整備	課長	能見 智人
〃	森林	整備	課長	櫻田 良弘
〃	建設	政策	課長	千葉 雅也
〃	技術	管理	課長	武藤 秀男

# 秋田県優良業務表彰要綱

## (表彰の目的)

第1条 県が発注した業務委託のうち、優秀な成績で業務を完了したものを表彰することにより、調査及び設計を行う技術者の育成・確保を図り、もって社会基盤の品質を確保することを目的とする。

## (表彰の対象)

第2条 対象は、表彰実施年度の前年度に完了した業務委託とし、秋田県委託業務成績評価に基づき評価されたものとする。

## (表彰の名称)

第3条 名称は、「秋田県優良業務表彰」とする。

## (表彰の基準)

第4条 次のすべてを満足すること。

- (1) 当該業務の成績評価が優秀であること。
- (2) 当該業務において事故等による減点がないこと。
- (3) 当該企業における各業務の成績が良好であること。
- (4) 当該企業において各業務の成果品について瑕疵修補又は損害賠償が実施されていないこと。
- (5) 当該企業において労働災害がないこと。
- (6) 他の模範となるものと認められる業務であること。

## (選考委員会)

第5条 表彰すべき業務を選定するため選考委員会を置き、その構成は別表第1のとおりとする。

2 選考委員会は、次項の幹事会の調査報告に基づいて協議し、表彰すべき業務を決定するものとする。

3 選考委員会に幹事会を置き、その構成は別表第2のとおりとする。

4 幹事会は、事務局が作成した優良業務表彰候補者名簿に基づいて、部門別に当該業務の調査を行い、その結果を選考委員会に報告するものとする。

## (表彰)

第6条 被表彰者は、受託企業の代表者（共同企業体の場合にあっては、構成員のそれぞれの代表者）及びその業務を担当した管理技術者とする。

## (事務局)

第7条 事務局は、技術管理課に置く。

## (補足)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

## 附則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

平成28年6月1日一部改訂

平成29年3月9日一部改正

平成30年3月16日一部改正

※上記要綱内の「別表第1」及び「別表第2」の構成員は、P55の名簿参照のこと

ユタカな国へ

あきた  
びじょんた

